



Dai MIKURUBE, Rkyazu@googlewave.com and Makoto Yamazaki:
Hack For Japan (hack4jp) 1日目 (19日) プレーン・ストーミング Wave

Mar 21 ▼

2日目のWaveはこちらです → [Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#)
3日目のWaveはこちらです → [Hack For Japan 3日目 "Hack-a-thon" Wave](#)



Rkyazu@googlewave.com: ↑勝手にわからず大変申し訳ないです。

Mar 19 ▼

以下提案つらつらと。

ソフトというよりハードと連動した話なんですが、日本の携帯だとお年寄りがなかなかWEBに繋がられないんですよね。例えば電話番号をプッシュする感覚で（電話は皆さん最低限使えますので）、WEBの、SOSサイトに繋がれるようなサービスをキャリアと連動して組めませんか。

あとGPSもあるんだし、電話回線・メールが繋がらない状況でのSOS機能を比較的簡単に行えるようにしたいと思います。今回ツイートが一番厄介なデマが偽被災者の「助けて！」です。それが正しい情報であっても、親族や地元以外の人「ツイッターで見ました！」と警察や救急に訴えてもとり合ってくれない、もしくは迷惑だけです。生きてる回線でボタン一つでSOS、これは知恵を絞りたいです。



Rkyazu@googlewave.com: ぶっちゃけTwitterの登録もっと簡易的にできないものかというのが一つと（親のアカ Mar 19 ▼
ウント自分で申し込んだ上に、かんたん設定さえしてくれればいいというのに未だに使わない我が親）、タイムラインだけでなく手動で自身の優先ツイートの整理・一定のRTやリプライを受けたツイートの優先表示といったものが可能な外部サービス。

うまくまとめたのは、緊急時にツイッターが有効アイテムなのは確実なので、ITアレルギーな人や今回登録してない市町村にも使って欲しいのです。そのための限りなく簡易的で、見やすく整理されたTwitterと連動したシステムが求められます。



Masakazu OHNO: 緊急リリースで機能足りてませんが、こんなのでどうでしょうかねー。

Mar 20 ▼

<http://jishin-omimai-2011.atwiki.jp/>

<http://jishin-shien-2011.atwiki.jp/>

<http://jishin-gien-2011.atwiki.jp/>

機能&対象は拡大していきます。



Rkyazu@googlewave.com: 市町村、災害向けのメーリングリストが存在しません。各自治体の組織によってバラ Mar 19 ▼
バラですし、無料サービスは広告的な面などろくなものがありません。メールという手段はお年寄りも見るとはできます。

1. サービスが公的なものである（市町村主導の）

2. 登録が非常に簡単であり、広告的な面が薄い

↑のどちらかを満たせば、公的なメーリングリストとして普及できるはずで。

これまでより進んだ、今回の震災を踏まえたメーリングリストサービスの開発をご検討ください。



Hiroki kumazaki: メーリングリストはよい考えだと思います。

Mar 19 ▼

・参加・離脱を簡易化する仕組み

・すぐに誰でもメーリングリストを立ち上げられる仕組み

があれば一般の人でも使ってもらえるのでしょうか。

gmailなどのオープンなメーリングリストは既にありますが市町村が導入していないところを見るに技術的な壁が高いんだと思います。

2. の方が筋が良いと思います。

ここからは実際の運用の話ですが

メーリングリストを作った場合には管理人が必要になります。しかしmixiのコミュニティなどの運用を見るにある程度以上の人数になるとただの一般人が管理人を執るとすぐに情報を追いきれなくなります。

市町村の広報課などを管理人となってくれるような働きかけが必要だと思います。メーリングリストサービスのUIを簡単にすることと、広報課などに働きかける事の2つの軸で詰めていく必要がありそうです。



Rkyazu@googlewave.com: ありがとうございます。Hirokiさんのご意見ですごく前進した感じがします！ Mar 19 ▼

2に関しては、それこそGoogle等が（その他の僕の提案にも言えることですが）公的なところが管理する向けの広告的な面がないサービスを敷いてほしいと思います。

運用面で、今回積極的に広報が動いている自治体はよほどの被災地か、もしくは意識が高いところかと思います。意識が低く、広報担当に追加の仕事が頼めない所へ強制するのはステップが必要かと思います。いっそ国家として、WEBの速報担当というか、そういう担当を全国各自治体に配備してもらう呼びかけを提案したいですね。



Hiroki kumazaki: そうですね、ステップとしては意識の高いところに導入してもらう→成果を上げる→うち Mar 19 ▼
もやってみようかと思わせる という順番になるのでしょうかね

現時点で被災した場所以外でWeb速報担当を作る事よりも、被災した市町村の広報担当（季報とかを編集している人）のリソースをそちらに使ってもらえるよう働きかけるべきです。ですから国家主導でどうの、という段階はまだちょっと遠いかな、という気がします。

- 1、使いやすいメーリングリストのUIを詰めて実装する
 - 2、被害のあった市町村に導入してもらう
 - 3、草の根で広がっていくことを期待する（そこはソフトウェアの出来栄次第です）
- の順で考えるのはどうでしょうか。



Rkyazu@googlewave.com: 具体的な落とし込みありがとうございます。大変感謝です。 Mar 19 ▼

Hirokiさんの進行案をベースに、使いやすいメーリングリストというものを自分なりによく考えてみたいと思います。皆さんからもぜひお知恵をお貸しください。



Hiroki kumazaki: 大事な事を忘れて居ました。 Mar 19 ▼

携帯電話向けのPCからのメールをすべて削除する、という設定にしている人が山ほど居ると思うので、キャリアに協力してもらって市町村メーリングリストだけは受信できるようホワイトリスト対応して貰わないと「PCからのメールを受信する設定にした途端にスパムで埋まったのでやっぱりメーリングリストとして機能しない」というとても悲しい事態になると思います。

そして、各社に協力して貰う前提であれば他でも挙がっている意見である「エリアメール」などを交えてもっと合理的な形にしたいところです。



Fukasawa kenichi: エリアメールについて、改善提案ありますでしょうか？具体的なアイデアが Mar 20 ▼

あったら教えてください。ネックはドコモ加入者にしか届かない点です。その点を承知で導入する価値のある情報をピンポイントで提供できたらいいかと思っています。



Teru.Shindo: 緊急地震速報としてのエリアメールと同種のサービスは他社も展開していますが、ソ Mar 20 ▼
フトバンクの対応機種が異様に少ないですね。

対応機種 | サービス・機能 | NTTドコモ

http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/compatible_model/index.html

対応機種一覧 | 緊急地震速報 | au by KDDI http://www.au.kddi.com/jishin_sokuho/taiou.html

緊急地震速報 | ソフトバンクモバイル <http://mb.softbank.jp/mb/service/3G/EEW/#models>



Rkyazu@googlewave.com: Hirokiさんありがとうございます。使い勝手のいいUIを考え、その後の仕組の Mar 19 ▼
部分はキャリア各社と同じテーブルで揉んでいきたいところですね。



Takashi MATSUO: google group の UI はいまいちですか？ Mar 19 ▼
<http://groups.google.com/>

みなさまのフィードバックがあれば改善できるかと思います



Hiroki kumazaki: おおこれは良い気がします。 Mar 19 ▼

ですが問題なのはこのサービスがgoogleの一存で終了する可能性のあるところであって可能であれば各市町村ごとにサーバを置くとか、AWS契約するとかの方法で、自前でサービスの存続を保証できれば決定的だと思います。



Takashi MATSUO: もちろんサービス終了する可能性はゼロではありませんが限りなくゼロに近いと思いま Mar 19 ▼
す。AWSであってもそれは同じではないでしょうか。



Hiroki kumazaki: それはそのとおりですね。失礼しました>AWS Mar 19 ▼

サービス終了しない、で言うのであればgoogleが検索サービスを辞める可能性だってほぼ確実に無いでしょうけれど

現状の市町村は自力で存続を保証できない限りはその検索サービスにすら公的なサービスを依存させる判断に踏みきけることはできないと思います。



Takashi MATSUO: 大事なポイントからずれてしまいそうなので、話をもどすとして、クラウドベン Mar 19 ▼
ダーと自治体が共同でサービスを作っていくモデルというのは大きな可能性を秘めていると思います！



Hiroki kumazaki: 私もそう思います。

Mar 19 ▼

現時点での選択肢として考えるに、このgoogle groupのオープンソース実装を作って自治体に使ってもらう事が現実的だと思うのですが

クラウドベンダーの協力を得て自治体と連携を取るための具体的な手順がまだちょっと見えてきません。

それとは別件で

現時点のgoogle groupを市町村に使ってもらって、具体的にどこが便利でどこが不便だったのかの声を集めるのは建設的だと思います。

こればかりは現地に赴かないと難しそうなのが難点ですね。



Dai MIKURUBE: 今回のような状態を市区町村ごとにサーバを置くだけでは不安が残るかもしれない Mar 20 ▼

ですね。サーバごと流された、けど生きている人はいる、けど連絡手段がない、というような。そんな状況のためにクラウドを役に立てられるように思います。もっとも、ネットワークだけ切れる可能性もあるので、クラウドか地元のサーバのどちらかが動いていれば届く、という仕組みが理想的？



Dai MIKURUBE: あと、サービス終了については、データをexportすれば、ユーザの設定変更不要で Mar 20 ▼

他のサービスに移行できるような体制を各ベンダーで作っておく、というのが現実解になるかも、と思っています。



Rkyazu@googlewave.com: 確かにクラウド&エクスポートが理想ですね。

Mar 20 ▼

Dropboxのように、自治体外の1省庁がクラウド&ミラーリングを行っても、これに関しては良いと思います。



Rkyazu@googlewave.com: 「Google group」の技術を生かした、公的メーリングリスト（エリアメール）サービスの立ち上げをGoogleと共同で行う、というのは現実的じゃないですかね。

Mar 19 ▼

今回Twitterが生きたのはサーバーが自治体とは別というのがありましたし、Googleとその辺を共同してやれると災害時も強固なサービスになると思います。



Logischerweise@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Yoshihiro Sugi: 確かに被災地は電話はほとんど繋がらずかろうじてメールは使える、という状況はあった気がする Mar 19 ▼

るのでメーリングリストで情報共有の仕組みがあるととっても良かった気がします



Rkyazu@googlewave.com: 全住民規模のメーリングリスト、必要ですし実現したいですね。

Mar 19 ▼

費用負担をどうするか、サーバーをどうするか、課題が山積みですが。



Takashi Toyoshima: そういう用途だとエリアメールがカバーしてる気はしますが、どうでしょう？ 不特定多数の Mar 19 ▼

人が投稿できるとなるとtwitter同様のデマ氾濫の危険性があり、混乱を助長させる気がします。



Rkyazu@googlewave.com: 確かにエリアメール便利ですが、docomo限定！なんですよ。一応緊急速報は各 Mar 19 ▼

キャリア来るはずですが。



Takashi Toyoshima: 似たようなサービスってキャリア各社もってないのでしょうか？（自分はその辺、詳しくな Mar 19 ▼

いです）。緊急速報の仕組みをもう少し広く利用できれば良いですね。あと、緊急速報の一次ソース、配信がオープンになっていれば、携帯各社のみならず、ユーザアプリも使えるようになって幸せなんですけどね。



Rkyazu@googlewave.com: そうですね、緊急速報のキャッチと同じだったら、たとえITアレルギーの方で Mar 19 ▼

も情報入手が可能だと思います。ただ震度や被災範囲の情報だけでなく、あの機能をもっと活かしたいですね。



Rkyazu@googlewave.com: メーリングリストは全員発言力がほぼイコールですよ。Takashiさんのご指摘の通 Mar 19 ▼

り、従来のメーリングリストの機能だとデマや混乱情報の流布はあり得ます。自分としては例えば公的機関・組織主導のリストで、そちらの送信は一斉同時、市民側からの情報は一旦ストック、確認・整理の上...など、より便利にメーリングリストが進化できればと思います。



Rkyazu@googlewave.com: メール段階である程度整理されていて、極力ジャンプ先が1ページで済 Mar 19 ▼

む。またメールに戻り、そしてまた新しいメールが届く...と（これメールじゃなくて、Takashiさんのエリアメール的なものや緊急速報システムを活かすものでOKです）、携帯ユーザー人口と速報性を考えるとこの辺が使い勝手良いかもしれません。とっつきにくさを極限までなくしたいです。あと「覚えろ！」っていう感覚を。



Rkyazu@googlewave.com: あと最低限同じシステムを各市町村持ってほしいですね。現状だとよそのを見なが Mar 19 ▼
ら自分の所をつくるって感じなんです。

上のメーリングリストもそうですし、例えばこれ思いつきですけど市町村別知恵袋とか。

Yahoo!とか大手一括もいいですけど、エリア限定の情報がほしいのに切羽詰ってる時にそこまで辿りつくのは大変だと思いますし、システム同じだと今回みたいに市役所一つ消えてしまった時とかでも、よそからヘルプに来て対応することが可能じゃないですか。



Rkyazu@googlewave.com: 企業・都道府県・政治家・団体...こういう時ってコネや力があっても意外と皆さん知 Mar 19 ▼
恵がなかったり、現地・被災者のニーズが届きづらかったりします。彼らに直に要望が届くネットワークを構築しませんか
ね。(Twitterの「はい！了解」みたいなのも距離が縮まったなあ実感しますが、あれは私的であり狭すぎる気がします)

誰に、どのような発想のもので、いつやってほしいか。誰と協力してほしいか、この辺が直に届くネットワーク。電話だって混乱し
ちゃいますし、提案はここ以外で書くな！くらいの。

誰にどんな要望がいったかは公開されて、他にできそうな所があれば協働したり地域別に振り分けたり...もちろんガラケー対応で。
うまく使えれば災害向けだけでなく経済対策にとっても効果が発揮できるのではなかろうか。

統一したテーブルにどれだけの所がつけるかが鍵ですね。



Yuichiro Mori:

Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: ガラケーで動画実況配信できるというもの、もはや絶対必要だと思うんです。今回の Mar 19 ▼
災害を機に、ガラケーがひた隠しにしている・守っているパケット制限とオープンアプリの壁は交渉で破れるのではと思って
います。

被災地からの発信はもちろん、Ust受信までガラケーでできればどれだけの被災者が安心することか...

この辺の技術オープンにしてくれれば俺達はできる！って開発陣の具体的な提示があれば可能と思います。ぜひご賛同とお知恵
を！！



Morishita Hiromitsu:

Mar 19 ▼

自治体が緊急時使えるポータブルなワンセグ放送装置は作れないのでしょうか。



Rkyazu@googlewave.com: Docomoと連携して、長時間駆動&耐久性の強いPCとセットにすれば今すぐ Mar 20 ▼
でも実現可能でしょうね。

ブロードキャストに投資がいらなくなったのは本当にITの恩恵です。後はUstream等への配信が1ボタンで可能になっているほ
どセットアップされていることでしょうね。

なんならこのPC、自転車充電や手回し充電とセットになっているとなおいいです。

Morishitaさん、良い視点での書込みありがとうございます！！



Morishita Hiromitsu: 半径3-5km位に放送するのにどれくらいの大きさ高さのアンテナが必要か？ポータブ Mar 20 ▼
ルなアンテナも必要でしょうね。Web上のサービスではお年寄りにはハードル高いと思いますが、ワンセグは今やガラ
ケーにはだいたい付いていますし、電話、メールそしてワンセグまでは操作できる人も多いのではと思いました。緊急時に携
帯に信号送って利用者に放送開始を案内できワンボタンで視聴開始できるといいのですが



Rkyazu@googlewave.com: ↑↑で書いた緊急災害用PCからのUst(仮)配信を、各局(各中継局)がワン Mar 20 ▼
セグ放送に変換して放送するというのもありかと思いました。Morishitaさんの視点本当にありがたいです。



Morishita Hiromitsu: ワンセグにはエリアワンセグというある地域の中とかに放送するものがあるのでそれ Mar 20 ▼
に当たるとします。

通信インフラごとやられると使えなくなるのでその装置1つで放送まで出来るのが便利なのではと思っています。

もちろん、電波に乗せたこともそのままUst等にアップできると蓄積もしやく、エリア外の人でも視聴可能となるのでいいで
すね。



Dai MIKURUBE: (このまま続けてくださってOKですが、2日目Waveを用意してあるので、区切りのいいと Mar 20 ▼
ころでそちらへどうぞ;) 今日来る方もそちらを参照される方が多いと思います。発言のコピー・移動やリンクなどを残
していただけると良いと思います)



Morishita Hiromitsu: ありがとうございます。

Mar 20 ▼

ここはそろそろ移動しましょう



Akira Onishi: キャリアは、パケットを管理するために膨大なデータベースを保有しているので、パケット制限を簡単になくす、という方向性は考えづらいと思います。それと、ネットワーク帯域は無限ではないので、サービスレベルの維持ができないと思います。下手をしたら、他の重要なデータ交換に支障をきたす危険性が高まります。 Mar 19 ▼



Akira Onishi: それよりも、動画で状況を伝えたい人が確実に配信できるような仕掛けを考えたいと思います。配信は簡単だけど、受信する人が膨大になった場合とか、ユニキャストだとあつという間にネットワーク帯域が枯渇します（過去に大規模配信を何度かサポートしてきて、実感しています）。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: アドバイスありがとうございます！！1対1という考えではなく、有効な通信手段（動画）の方向で考え直してみます！！ Mar 19 ▼

上のメーリングリストでも書きましたが、今まではNHKが既存のサービスを利用するとかいう以外横ばい（皆同権利であり同レベル）でしたよね。緊急度やSOSチャンネル、配信する理由等で振り分けるシステムを考え、YouTube（これ何でも同レベルの精神で作られてるものですから）任せでなく日本の・我々の動画情報が伝わる携帯からも投稿できるサービスの立ち上げと、キャリアにはそこを利用するとした上での優先順位別配信をガラケーで行えるようにする提案、この辺は検討したいです。

要はネットって整理されてないんですよ。自動で整理するための技術はある、だけどそれに乗っかって誰しもウェルカム状態で、人間的な優先の判断ができない。機械的なのは既存サービスにお任せすればよくて、「誰か」が判断して交通整理してあげるものを用意すれば、今のインフラでも対応可能ではないかと思います。できるだけ人間がやることと自動の境界線は縮めたいと思います。



Yuichiro Mori:

Mar 20 ▼



Akira Onishi: 複数の事象のモデレーションやアレンジというのが、求められるのでしょうか。課題は判断の確からしさ、を誰が認めるのか、といったところでしょうか。情報ソースやコンテンツの内容に依らず、調整するための仕組みが必要でしょうね。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 今回もツイッター上で、公的なアカウントですら誤情報に左右されて四苦八苦してますからね。ただしデマよりも有力な情報は、マイナスより遥かにプラスなので流している。この判断基準作りは新しいサービスにも活かされるのはもちろん、既存の我々の利用しているサービスの舵取りにも活かされるかもしれません。より突っ込んで考えてみたいです。 Mar 19 ▼



Akira Onishi: 調整に時間がかかりすぎると「即時性」を失うし、時間をかけないと「デマ・偽情報」が拡散してしまう。人の集中力に限りはあるし、おそらく終日ネットサービスに人が張り付く、というのは現実的ではないのでしょうか。第三者や専門機関をうまくつなげる、ということも必要かもしれません。この課題をクリアすることができれば、日本に新たなブレークスルーが起きるのかも、と考えています。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: Akiraさんのアドバイス、大変ありがたく、また実現性を帯びた時の可能性を感じ心強いです。頭を都度リフレッシュさせながら、このブレンストレーミング期間中に膨らませたいです。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: ITサービスの件、救援物資がどこにどれくらいあるか、また、どの地域で何がどのくらい不足しているかを、グーグルマップなどの地図上で一元表示する、というのはどうでしょうか？NHKで見た「救援物資がどこで止まっていますか？」という被災者の方からのFAXが印象に残っているので。 Mar 19 ▼



Akira Onishi: おそらく、最大の課題は、現時点の状況を正確に把握することなのでしょう。これは現地の人でないとわからないと思います。なので、避難所がどこにあるのか、避難所までの物流経路が確保できているのかどうか、など実態把握が求められると思います。このあたりを、集約することが先決かもしれません。携帯電話とアクティビティフィードを応用して、この辺りを効率よく集められないかと考えています。一方、物資の状況については、地点以前に自治体レベルで把握できるような仕組みを作っていくのが重要なかもしれません。物があっても届けられない状況というの考えられますし、物資の到着が予定されて届かなかった場合に、人の期待を裏切ることで、いらぬ混乱を生み出さないように配慮することも考えた方がよいかと思います。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 書き込み側は完全オープンなサービスからではなく（読み手は完全オープン）、特定の条件を満たした自治体レベル・もしくは現地に入った信頼できるボランティアと限定した上でなら、無駄な混乱を防ぎ安心した情報を届けることができるかもしれませんね。今は提供元のGoogleか、後はユーザー皆という感じが、ユーザー以上の権限を限定して与え、信頼した情報を豊富にGoogleマップなどに集めるのは今後の発展に繋がるかもしれ Mar 19 ▼

ません。



Rkyazu@googlewave.com: 権限定とした上でGoogleマップと連動したサービスを組めば、かなりシンプルで使い勝手のいい、携帯から有力情報を書き込めるものが組めるのではないのでしょうか。それこそGPSを活かして。 Mar 19 ▼



Akira Onishi: まずは、コミュニティに閉じた形の運用であれば問題ないでしょうね。オープンになる場合は、繰り返しになってしまいますが、その権限を誰がどのようにコントロールするか、という課題が発生しそうです。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: あ、書き込み側はコミュニティ制限ありです。読むのは全ユーザーという形で。このサービスに関しては、権限は自治体が信頼できる現地入りしたボランティア団体に与えるなど。その際ボランティアの審査機構が必要になりそうです。 Mar 19 ▼



Akira Onishi: ですね。先の議論と同じく、審査・モデレーション・アレンジ、というところが共通の課題になりそうです。 Mar 19 ▼



Shigenori kamata: 位置情報を活かして、被災地からしか書き込みできない縛りを与えれば、ある程度、被災地からの情報を絞れないですかね。 Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: できると思います。GPS情報と、あらかじめ自治体及び登録ボランティアの端末登録をしておけば有効活用できそうです。 Mar 20 ▼



Rgfx 0020: 通信キャリアによる、~~平時からの~~「今どこの基地局が生きているか・死んでいるか」について
の準リアルタイムな情報公開が必要です。今回、どこにどれだけの被害があったかという情報について、明らかに生存者バイアスがかかっていました。（自治体ごとオフラインになった地域については真っ先にヘリで乗り込んで確認するくらい
のことが必要なはずです。）→こういった情報が今後災害時に、web171(災害用ブロードバンド伝言板)に併設と言う形で公開されることを強く望みます。 Mar 19 ▼

また、IP/回線がオフラインとなった地域とのアマチュア無線による連絡が今回どれだけ役立ったのか、気になるところです。



Rkyazu@googlewave.com: アマチュア無線とITの連携も、明確なサービスとしたいところですね。今はどれだけ通信ルートがあってもありがたい。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: FDMAさんや市町村の被災情報まとめ、計画停電のグループなどPDFで来るんです
が、ガラケーで確実に把握できる変換システムは可能ですか？他の方が既に書かれていたらすいません。 Mar 19 ▼

現状のGoogle変換の技術だと、PDF内の文字をテキスト変換して表示するというものですが、表になっているととても理解できるものでなくなります。

例えばFlash変換して一画面表示→ズーム可能にするなど。



Akira Onishi: 市町村や企業などが、どこかのサイトに登録したら、複数のフォーマットで取得できるよう
なサービスを考えるのがいいかもしれません。それか、凝った書式は必要ではなく、シンプルな表形式のデータとして
入力できるようになっていればいいと考えています。このインフラがあれば、PDFで公開する一方で、2次利用がしやすいか
と思います。ODataやJsonで情報が開示されていたら、と考えている開発者は少なくないかも。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 素晴らしい解決案だと思います！その方向で是非お願いします！！ Mar 19 ▼



Akira Onishi: おそらく自治体にせよ、一般の企業にせよ、情報をできる限り早く伝えたいと努力している
と思うのですが、その手段がないのだと思います。単純なWebフォームでもいいので、そこに登録すれば、自動的に必要
とする人がアクセスできる、単純なサービスをクラウドにホストするのがいいかもしれません。 Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: それが新しいWebサイト、Webデータの形になるかもしれませんね。すごく
単純な「伝えたい」情報が、多様な互換性・ファイルと共に、各端末で整理・デザインされ、発信される。その形が一
日も早く実現することを期待しています。 Mar 19 ▼



Jinhoou@googlewave.com: 入力は、GoogleDocsのスプレッドシートにし、用途ごとにテンプレートを
用意するのがいいと思います。Excel使ってる人ならほぼ説明がいらないし、テンプレートの運用がこなれてくれば行政側
や担当者にかまされません。データの抽出はAPI使って出力先によってPDF、テキスト、直接メールなど流用できると思
います。 Mar 19 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: この実現・周知は迅速に（被災地の緊急度が高いうちに）行いたいですね。確実に現状役立ちますし、難しいものではなさそうです。

Mar 20 ▼



Hotani3@googlewave.com: 編集なしで閲覧だけということであれば、以下のサービスがすぐに使えると思います。

http://fujifilm.jp/business/imaging/keitai_service/gt-document/index.html

Mar 21 ▼



Matome20110311: 今、手入力でやっています。

Mar 21 ▼

Google カレンダー版の計画停電予定

(東北電力、東京電力

<https://sites.google.com/site/keikakuteidenkanren/home>

協力者の方が「東京電力発表の計画停電の予定情報を cron + PHP で取得して、Google カレンダーに書き込む」という仕組みに取り組んでくださっている最中です。

ご協力社本人様によると、「できるかぎり努力しているが、今日中に仕上げるのは難しいかも」とのこと。



Rkyaizu@googlewave.com: ガラケーのポケット制限解除は難しそうですが、現状の回線でガラケーによるネット ラジオの配信・視聴は可能でしょうか？

Mar 19 ▼

ラジオ機能は携帯の機種によりますが、アプリでこれが可能になるならSOSにも、被災者のための安らぎラジオにも活かせます。キャリアに掛け合うにしても動画より現実味がありそうですが、いかがでしょう。



Akira Onishi: 長期的に考えると、ラジオについては、携帯型ラジオを配る方がいいのかもしれませんが。ネットで 配信するにせよ、普通にラジオで受信するのに比較すると、電力消費が高いような気がします。

Mar 19 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: なるほど、ラジオを聞く、ということに関しては確かに仰る通りです。発信側の観点としてはいかがでしょう？パケット制限の中で、ボイスメールでは届けられない時間・量の配信を行うことはアプリ開発などだけで可能でしょうか。

Mar 19 ▼

また、同時にlivedoorのねとらじ的なものを聴くことが。

これが可能になるだけで、大いに前進かと思えます。今回ねとらじで励ましのラジオを実際行いましたが、携帯ユーザーに届かないのかと歯がゆい思いをしました。



Akira Onishi: 声を届ける相手を特定するしないで、選択肢が変わるかもしれません。ライブ配信だけは課題が残 りそうですが、オンデマンドなら実現できるかも。キャリアと組むことができれば、音声型のコンテンツサービス（電話をかけて音声を聞く）の中に仕掛けるのが簡単かと。ただし、電話を掛けるという能動的な行為が求められるので、今一歩かな。別の観点で、ライブでない方法としては、着うたなどの音楽配信の仕掛けを利用して、録音済みのコンテンツを配信するのが簡単だと思います。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: 配信する側はネットから、受信する側には緊急時用ラジオ局などを設置してネットからの音声を そちらに流せれば、電力の問題とある程度までは両立できるかもしれないですね。（法的な問題はあるかもしれませんが...）

Mar 20 ▼



Akira Onishi: ミニFM局を立て、ネットからの音声を中継するというやり方とか、既存の放送局と連携する仕掛けの方が早いかもしれませんね。電波法との調整になってしまうのかな。

Mar 21 ▼



Yusuke Tanaka:

Mar 20 ▼



青木まがり: <http://t.co/wSPC5Dm> こんなんでどうでしょうか？意見いただけるとうれしいです

Mar 20 ▼



J_nakada: ガラケー、iPhone用の計画停電検索性アプリケーションを作りました。<http://rolling-blackout.jaws-ug.jp/> GPSを取得して市町村くらいまでなら変換できます。なにか他のアイデアとコラボできるのでしたらご協力します

Mar 20 ▼



Hayato Ito: ここは、アイデアソン会場です。

Mar 19 ▼

Google Moderator も利用できます。アイデアは、日本語で入力できます。**Moderator**上では、自動翻訳した英語も表示されます。

 **Fumi Yamazaki:** 東日本大震災後、たくさんの企業や個人によって救助や情報収集のためになるアプリケーションやサイト、サービスが作られてきました。[Google 災害情報ページ \(Crisis Response page\)](#) や [sinsai.info](#)、[Yahoo! JAPAN - 地震・津波災害に関する情報](#)などです。また、そうしたサービスの開発には携わってはいないものの、何か役に立ちたいーそんな **developer** の皆さんの声も頂いてきました。そこで、**developer** が結集して、**developer** 以外の方からもアイデアや要望を頂きつつ、様々な取り組みについて情報交換しながら、より役に立つ災害情報サイト／サービスを提供するための場を提供したいと思います。

既に色々な方や企業／団体が様々なサービスを提供していますが、その中には重複した作業や、お互いに協力できるものも数多くあります。私たちはこのイベントを通じて情報共有などを行うことで、不必要な重複の回避や開発の効率化、さらには1人では考えつきもしなかったものが開発出来るのではないかと考えています。 その場の一つがこの **Wave** です。

"Hack For Japan" では、一日のハッカソンで終わることなく、継続的に良い物を作るべくハックし続けていきたいと考えています。ですが、まずはスターティングポイントが必要かと思い、**ideathon / hackathon** という形を取らせて頂ければと思います。よろしくお願いします！



Noritakahiro@googlewave.com: 各携帯居キャリアが個別によつて被災者情報が統合できないものか。

Mar 19 ▼



Takashi MATSUO: 実は人探しだけなら **Person Finder** で実装済みです。

Mar 19 ▼

<http://japan.person-finder.appspot.com/query?role=seek>

電話番号を入れると携帯キャリアの安否情報を検索します。

それとは別に、被災地やシェルターの情報なども統合する意義大きいですね。



Fumi Yamazaki: でした！ http://googlejapan.blogspot.com/2011/03/blog-post_3615.html

Mar 19 ▼



Noritakahiro@googlewave.com: それって一方通行では？ **Google person finder** →各社の情報、だけでなく、各社の掲示板→**Google person finder**も実装されてるの？

Mar 19 ▼



Hiroshi Ogawa:

Mar 19 ▼



Tabata:

Mar 31 ▼



Takashi MATSUO: おそらくまだです。**Person Finder** には **API** があるのでそれを使えば実装可能です！

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: そうですね。要はそういう要望がノンエンジニアから出て、**API**を使えばできるぞと。それを選ぶかどうかは別として、そういうのを実装する為に**21日**があると、そういう話です :)

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 今回の色々な場所で行われたハックで、やはりバラバラなプロバイダーがもっている情報がバラバラなままだとユーザにとっての利便性が著しく落ちるところですね。そこをみんなの力で便利に統合していくのは**Hack4jp**の趣旨にぴったりですね。

Mar 19 ▼



三井雄貴: 情報が散逸していたり重複していたりで利用しづらいというのには同意します。それぞれがてんでばらばらに情報発信するだけでなく、ある程度似たような情報を持っている同士で情報交換をしたり、情報自体似たような物を集めるといったような体系化が必要なんだと思っています。あるいは、取捨選択のような物とか。

Mar 19 ▼



Akira Onishi: 何かに貢献したいと考えている開発者は少なくないと思います。おそらく、躊躇してしまうのは、同じような情報がすでにあるかもしれない、とか、公的な地域情報にアクセスできない、とか、あと重要な点として、個人や少数の集団だけでは開発とサービスを維持できない可能性が高い、と思います。開発者とサービスプロバイダーが連携するような仕組みを考えられないでしょうか。それと各サービスプロバイダーが競争を考えずに、コミュニティを形成できないかと。無謀かもしれませんが、その辺りを考えたいです。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 仰る通りですね。だからこそ **#hack4jp**では同じようなプロジェクトがないか洗い出し、重ならな

Mar 19 ▼

いように、もしくは協業しながらプロジェクトを進めていければと考えています。よろしくお願いします。



Atsuto Suyama:

Mar 20 ▼



Akira Onishi: そういう意味でも、この動きを多くの開発者に知ってほしいですね。市場の競合関係はいったん脇において、考えていきたいです。

Mar 19 ▼



Takuya: 私は今回のこの取り組みに関しては、市場の競合関係はまったく考えていません。たとえば、**Azure**が良ければ**Azure**でまったく問題ない。開発者に選択肢を与えましょう。そのためのマッチングがちゃんとできれば良い。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: はい、そうですね。そのためにも競合するところもある各社みんなで協力して **Hack For Japan**はやっているのです。頑張りましょう！

Mar 19 ▼



Seiji Hayakawa: ideathonの本筋からははずれるかもしれませんが、ここでの成果をある程度「公的に認定されたもの」として実装するための働きかけも必要かと思います。例えば、被災地の不足物資と支援希望者とのマッチングサイトなど出てきていますが、こういった情報は窓口が分かれていると、重複による無駄や混乱を来しかねません。情報の集約が必要だと思います。

Mar 19 ▼



Daisuke Yamashita: 今、日本**Android**の会 関西支部がちょうど同様のイベントをやっており、主催者に連絡を取りました。そちらで出たアイデアをこちらにどんどん入れてもらうようにします。

Mar 19 ▼

http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20110316_433184.html

あと、ベースとなる分類などがあれば良いかもしれませんね。
放射能についてとか、支援物資についてとか。



Sugimoto4415@googlewave.com: 日本**Android**の会 関西支部の被災者支援チャリティアイデアソン&ハッカソンの結果あとで、各チームにアップしてもらいますね

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: 最初にアイデアをいくつか持ってきていただけると話し始めやすそうですね。他にも、既に作ったアプリを紹介してもらうとか、もう少し **Moderator** の方から宣伝してw いろいろな意見を集めるとか、あたりから始めるというような気もします。

Mar 19 ▼



Takuya: たしかに、すでにあるアプリケーションをどう改良するかとかほかのアプリケーションとどう組み合わせるかを考えると面白いかもしれません。

Mar 19 ▼



Akio Kondo: 3/18の日本**Android**の会 関西支部のアイデアソンで出たアイデアをこの下に並べていきます。当日は以下のカテゴリでチーム分けしました。

Mar 19 ▼

- ・メンタルケア
- ・物流/支援
- ・救急
- ・復興/寄付
- ・通信/情報/インフラ
- ・その他

資料は[こちら](#)



Akio Kondo and Bin Yang: チーム名：スマイルホープ

Apr 5 ▼

子どもの笑顔を見ると安心できる。でも、被災地の大人たちが暗い表情だと子供も笑っていないのかわからない。テレビでも暗い話しか流れない。そんな中、被災者の方たちが笑顔を取り戻すためのアプリやサービスを考えました。

- ・笑顔対決

笑顔になることによって、免疫力を取り戻すこともある。人の笑顔を見ることによって見た人も笑顔になれるサービス。

- 2枚の笑顔の写真、絵などを並べて、より笑顔になれた方を選択してもらう
- 次々に笑顔の画像が出てくるので気分が良くなる
- 笑顔画像のランキングが出来る

- 赤ちゃん泣き止ませ
赤ちゃんが泣くとまわりも不安を誘うし、母親のストレスもかなり大きい。なので、赤ちゃんを泣き止ませるための音を笑顔対決と同じようにランキングできるようにする。
 - ヨガ解説
体を動かさないでいると気が滅入ってしまうので、ヨガのポーズを画像でまとめて、気軽にヨガを試せるようにするアプリ
 - 育成ゲーム
何かを育てることによって人の心を長期的に癒すことができるので、精神科医のひとと協力して育成ゲームを作る
 - 精神診
いくつかの設問に答えると、診断結果とそれに応じた処方箋が出てくる。精神科医のひとの協力が必要
- 3/19のハッカソンで笑顔対決と赤ちゃん泣き止ませを作成中です。



Yoshihiro Sugi: いちおうこういうものもありますw
<https://kayac.com/service/original/704>

Mar 19 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: iPhoneの美人写真だったか、写真と参加者が連動したアプリあるじゃないですか。あれの笑顔版ができるといいですね。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: CCライセンスの笑顔写真だけ持ってきて、表示するアプリとか。ありますね！

Mar 19 ▼



Xoxdesign.net@googlewave.com: iPhoneでトキカレというアプリをつくっていたので、若い男性の写真なら用意できますが…。 <http://hommestar.jp>

Mar 20 ▼



Nkzn: アイディアソンのハッシュタグまとめを貼っておきます。
「日本Androidの会・東北&関西支部のチャリティーアイデアソンまとめ」 - <http://togetter.com/li/113093>

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: これはいいですね。@GoogledevJPでツイートしておきました。ここで出たアイデアをmoderatorに移しておいてもいいかも！と思いました

Mar 19 ▼



Sugimoto4415@googlewave.com: 日本Androidの会 東北関東大震災 支援 チャリティ&アイデアハッカソン チームこれから から出たアイデア

Mar 19 ▼

デマだったー アプリ。twitter上でのtweetでデマもののものをランキング投稿します。
「このtweetは 245人の人がデマだと言っています。」みたいな。

このアプリは本日のハッカソンで、GAEとAndroidを使って実装しています。



Mocchi: 本日のGAEではなくて、自前のさくらレンタルサーバーで実装したので、サーバーは移したいですね

Mar 19 ▼



Takashi Toyoshima: デマtweetを登録、検索できるサーバを用意してAPI公開できると良いのですが。各種Twitterクライアントがボタン1つでデマ通報、デマ情報との類似度チェックができる、みたいな方向で。

Mar 19 ▼



Yoshimasa Niwa: Chatできそうな場所は現状ここだけでしょうか。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: IRC が設置されています。freenode 上のチャンネル #hack4jp ですね。接続の方法等は別途にか用意できれば...

Mar 19 ▼

もちろんこれらに限るものではなく、少なくともプロジェクトが始まればそのプロジェクトごとの会場を用意していただいてOKですし、なにかよいアイデアがあれば募集しております :)



Yoshimasa Niwa: ありがとうございます。IRCなら、ウェブからの入り口があったほうがいいかも... あと英語になってる所は現状ないですね。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 英語は今のところないです。日本語が話せない方が参加する窓口として作ってもいいかもしれませんね

Mar 19 ▼



Makoto Yamazaki: [Google Moderator](#) に書いてある分は機械翻訳が。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: はい :)

Mar 19 ▼



Yoshimasa Niwa: 機械翻訳! 21世紀ですね。

Mar 19 ▼



Makoto Anjo: そうですね、翻訳もあるのでModeratorに英語で投稿してもらっても問題ないと思いますよ。
チャットに関してはfreenodeで #hack4jp_en 作っております。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: おお、素晴らしい

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 英語圏の人達が手伝いたがっていたりします。英語チャンネルもちゃんとやった方がいいかもしれ
ませんね。チリからもアメリカからも声がかかっております。

Mar 19 ▼



Yoshimasa Niwa: 翻訳部隊が必要そう。

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 翻訳部隊を作るか、もしくは英語圏で日本のための別部隊を作ってもらうか。。。ですね

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: Moderator を見るとしつこく流れるTV映像はやはり皆さん不安になったようですね...

Mar 19 ▼



Rin yano: こどもはキツかったようですが、消す訳にも行かずで困りました。テレビでウェブのコンテンツがもう
すぐ見られるようになるかもしれませんし、ダッシュボードあるとありがたいですね。

Mar 19 ▼



Rin yano: あと、情報とるためにテレビをみてかえって不安をあおられ極端な行動や言動になっているご近所さん
もいらしたので、情報を簡単に一覧化できて、それをリテラシーの低いひととも共有できるような操作性がほしいです

Mar 19 ▼



Kenichi Watanabe: 伝聞だけれど、被害地の人は今どういう支援が受けられるのかという情報がテレビでは全然や
らないと言っていました。被害のショッキングな映像ではなく今現在の生活を支えるための情報が欲しいようです

Mar 19 ▼



Rin yano: でしょうね。私自身帰宅難民状態の際、頼れるのはtwitterだけという状態でした。電池消耗におびえつ
つ。ただ、現場ではかなり粒度のこまい流動的な情報になるでしょうからテレビでは無理でしょうね。ソーシャル情報も分散
しまくるでしょうしまとめる窓とかはなんか欲しいというかんじです

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: 緊急状態の人 (被災地の方とか帰宅難民の方とか) が必要な情報と、そこから若干離れて少し落ち
着いた方が平静でいつつ情報を得るためのメディアと、二通り要ののかもしれませんね。

Mar 19 ▼

どちらにも共通するのは、正確な情報...というのは難しいか。大量にやってくる情報を整理して選べるのが望ましいのかな、という
気がします。



Rin yano: 整理は難しいかもしれませんが、素晴らしいノードは <http://negau.org/> こんなかたちでもすでにあつ
て、こういう動きをウィジェット化する1つの約束事みたいなものが決めるだけでもいいのかもしれませんが

Mar 19 ▼



Rin yano: そうか、整理というのが信憑性うんぬんでなくて家とか外とかシーンごとのニーズによる分類という感
じでやればいいのか

Mar 19 ▼



Yoshihiro Sugi: たしかに分類されているだけでだいぶ整理されそうな気がします

Mar 19 ▼



Punidama@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Rin yano:

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: そうですね、特に緊急時だと信頼性はそもそも難しそうですし、見る側の人の状況によって選んでくれる/選べる、というのはポイントかもしれませんね。テレビに限らずTwitterでもそうかな。大量に流れてくるのを全部見ていると電池食いますし :)

被災地の方が必要な情報は、自分が生で見られたわけではないのでわからない部分はありますが、一部メディアしか見られない環境なのにそのメディアが必要な情報を流していない (←という噂?) が原因なのかなあ、という気がします。

- 緊急状況でも見られるメディアを増やすこと
 - 増えただけではうわさ話とかも出まわって混乱するので、必要な情報だけを抽出できること
- というあたりから解決への糸口が見えるかもしれないなあ、と思いました



Kenichi Watanabe: Web上にもいろんな情報があふれているので、URLあつめてタグ付けするためのソーシャルブックマークとかあれば整理できるのかなあ、とか



Rin yano: サバイバル用と警戒用をモードに分けて、タスク系とツール系...うーん状況把握、安否確認、生活情報の3分類で、あとは自分の信じるソースを追加できるといった操作性でしょうか



Dai MIKURUBE: 緊急状況だとソーシャルはなかなか難しいのだなあ、というのが実は個人的な感想でした。Twitterとかを見ると....。もっとも、口頭でのデマ拡散に比べれば修正情報もまだ流れやすいので、多少マシだったような気はするのですが。

ブックマークやつぶやきがトピックごとに自動でグルーピングされれば、そのトピックに関連する内容は全部拒否! とかできるのかな。修正情報がRTなどクチコミに頼らなくてもちゃんとその中に一緒に入ってくれば、少し冷静な判断ができるかも?



Rin yano: 操作上はその、トピックを自分で選ぶ、技術的にはトピックの自動グルーピング、という感じがな。ざっくり整理したソーシャルと、あとは公的な安全情報、速報のガジェット、プラス、NHKとかのストリーミングのセットで1画面。これをスマホ向けとかにコンパクトにしたのがサバイバル用。



Dai MIKURUBE: 一画面にまとまっているのは大事ですね。あちこち見るのも大変だし....。画面の上手な構成の仕方が鍵になってくる気がします。大きさと位置とかアラートの出し方とか? こんな見え方だと見やすそう! みたいなアイデアがあればぜひお願いします :)



Rkyazu@googlewave.com: 権利上生放送は難しい場合でも、放送している全チャンネルが一画面で見られる(確認できる)サービスはどうでしょう。大き目の静止画サムネイルで放送中の一画面をキャプチャしてくれるだけでも十分なんですが(CMをのぞく)。その中にインターネットテレビや地域によっては地域ケーブルが混じっていたり。CSなども。正直NHKが民放かしかないように感じさせてしまう現状です。特に地域チャンネルで集中して安否・被害・避難場所・給水炊き出し充電etc情報を見れるようにし、ネット経由で素早くそのチャンネルにいきつくようにしてほしいです。
また、地域チャンネルを他の地域の人が見れるようになっていっていいですね。



Yoshihiro Sugi: 自分はとにかくTwitter上でデマがたくさん流れたのがイヤでした。見る人が見ればデマだとすぐ分かるものでも多くの人に広がってしまっていたりして そういうのを少しでも防げればいいなと思っています



Dai MIKURUBE: 同感です。Twitterコミュニティは日本の全員に比べて小さいので今回は混乱まで引き起こすことがなかったのが幸いでしたが、将来こういうコミュニティがもっと大きくなったときにどうすれば防げるか、というのは大きな課題ですね



Yoshihiro Sugi: デマはどんどん広まるのに、「それがデマだ」という情報はなかなか広まらずにデマだけがどんどん広がっていつちゃうんですよね...



Stingraze@googlewave.com: デマのフィルタをかけてtwitterのツイートが見れるサービスとかがあると嬉しいですね。



Atusi nakamura: twitterのwebにオーバーレイする形で、いいねとかデマばいとか、そう言うのを付加出来るようにしていたら、それを参考にRTするなど出来るかも知れない



近藤俊彦:

Mar 20 ▼



Akira Ishino: デマを登録しても、デマは次々と湧いてくるのできりがないというところがあると思います

Mar 19 ▼

す。twitterではないですが、海外メディアに対して、<http://jpquake.wikispaces.com/Journalist+Wall+of+Shame> こういうサイトもできていたりして、デマそのものよりも、accountに焦点をあてて、～さんは～です系のbotサービスの形で、一見、遊びっぽく、デマを割と流す人ですよとか、デマをRTしちゃう人ですよとかがわかるといいのかなとか思いました。



萩原崇之: 実は私も似たようなのを構想していましたが、オレをデマ扱いするとは何事だ訴えるぞと言ってくる人
対策が必要ですな (^ ^;)

Mar 19 ▼



Arinobu FUKUHARA: そうですね。実際に RT している人たちは、善意でやっていることも多そうですし。。。

Mar 19 ▼



Nkzn: 安全地帯にいる人が「支援できること」と、被災地にいる人が「支援してほしいこと」のマッチングができるよう

Mar 19 ▼

なシステムはあったほうがいいかもしれませんね。最終的に物流に絡むので、ある程度公的なところで取りまとめる必要があるかと思いますが。以下のサイトを見ていてそんなことを思いました。

被災地支援表明ウェブ【できること】 - <http://dekirukoto.fm/>



Fumihiro Kato: これはこれで、良いシステムですね。既に、支援表明企業さんもうらっしゃるようですし。支援表

Mar 19 ▼

明で、支援先が判明次第、避難所リストとも関連させて、他の団体や情報サイトが参照できるようにするべきだと思います。



TakuyaOkamoto: 公的な支援も各所から始まっているようですので、「支援してほしいこと」に対して既に誰かが

Mar 19 ▼

対応しているかをどう扱かが重要になりそうだと思います。支援物資をもっていったら既に別のところから届いていたなどの状況は避けたいです。



Fumihiro Kato: TakuyaOkamotoさんがおっしゃられていることはまさにそうで、私もそう考えておりました。そ

Mar 19 ▼

こで、<https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken>

紺感じのリストを提案します。
誰かが既にアクセスし、救援を始めているようなら、別の場所に救援を行うなど避難所と支援者とのやり取りの状態を可視化し、誰でも編集できるう用にできれば、解決できるのではないかと思います。

救援効率も物流の効率も上がるのではないかと思います。



TakuyaOkamoto: 支援の重複を避けるという意味では、状況のリアルタイム性と正確さが求められそうですね。

Mar 19 ▼

誰もが編集できるようにすることはできるはずなので、あとは周知の問題になるでしょうか。



Yoshihiro Sugi: 今回は被害が広範囲で、地域によっても状況が大きく異なるようで 仙台市中心部ではいくらかま

Mar 19 ▼

ともに生活できている一方 他のところでは状況すらつかめていないとか

細かく各地の状況を把握した上で支援できると良いですね



TakuyaOkamoto: システムでサポートできる範囲を明確にしてアプローチしたほうがいいかもしれませんね。

Mar 19 ▼

残念ながら通信できないような深刻な地域もまだあるわけで、本来はそういう地域の方が早急な支援を必要としているでしょうから。。。

このマッチングでそこまでサポートできたらすごいと思います。

もしそこまでサポートするのは厳しい場合は、深刻なエリアは「支援してほしいこと」を発信できないほどに深刻であることを表示して明確にしておきたいですね。



Tatsuya Miyoshi: 現在、多くのボランティア志願者・多額の寄付が集まりつつありますが、どのように人・お金を

Mar 19 ▼

配分するかポイントになると思います。

親族が茨城北部に住んでいますが、一週間近く電気・ガス・水道全て止まっても支援物資はほぼ届かなかったようです。一部の地域に支援物資が集中しているのではないかと懸念しています。



タグドラシル: 初めて投稿します。ちょっとこの使い方はいいのかな？地震ないけど。被災者と支援者の情報マッ

Mar 21 ▼

チングの一助になればと、自分もサイトを構築中です。まだ途中ですが。。。声を出す側にはなるべく発言しやすい形で、その情報をストックしつつ、見る側がソートして自分が支援できるものを探すというコンセプトで。代理人と断って投稿もできるようにしようと思ってます。まずは携帯向けな感じで。 <http://www.entaku.me>



Dai MIKURUBE: 3日目の方に書いていただいたほうが、多くの人に見てもらえるかも知れません :) 3日目はこちら

Mar 21 ▼



→ [Hack For Japan \(hack4jp\) 3日目 \(21日\) "Hack-a-thon" Wave](#)



タグドラシル: なるほど。自分がどこに書き込んでいるのかすらよくわかってませんでした。なんとなく目に付いた情報が同じ発想だったので、つい。ありがとうございました。 Mar 21 ▼



Wanwan: 被災地の避難所一覧と、必要な物資、補給の為にロジスティック等を支援できないだろうか? Mar 19 ▼



Fumihiko Kato: 支援できると思います、⇒下のコメントをご参照ください。 Mar 19 ▼



Nkzn: 2つ下じゃなくなったので転載。 <https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken> Mar 19 ▼

Waveだと特定の発言へのポインタってどう表現したらいいのでしょ.....。



Makoto Yamazaki: 発言の右の▼から Link to message を選ぶと個別のメッセージのURLがでます Mar 19 ▼



Fumihiko Kato: ありがとうございます。 Mar 19 ▼

Waveでのポインタっていう発想は無かったです。

それと、提案というか、質問ですが、このまま散文的に書いて行っちゃって良いんでしょうか？

どのあたりで、誰がまとめていくとか、方針などあったらお願いします。

今、裏で、福島県の避難所に連絡するなどして、必要なものを聞いていたりします。



Fumi Yamazaki: Waveではディスカッションを続け、出てきたアイデアをModeratorの方に移して投票をしても Mar 19 ▼
らおうと考えていました。Sitesの方にまとめてしまった方がよいかもしれませんね。



Hayato Ito: ブレーンストーミングの段階では、あまりアイデアのよしあしや重複などは気にせず、どんどん Mar 19 ▼
ん書いていってもらって構わないかなーと思っています。



Fumi Yamazaki: ですね :) Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: あ、目的としてはWaveが先でModeratorが後だったんですね。敷居が高い人向け Mar 19 ▼
にModeratorを先に紹介しました。

どちらから始まったにしても、その後の流れとしては、ある程度盛り上がってきたら別の会場 (別のWaveでもSitesでもIRCでも...)をつくってそちらで集中して話す、という感じを想定しています。なのでこの場合はスターティングポイントとして散文的に書いていただいてOKです



西本誠: Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 入り口は両方です:) Waveでの議論を収束させてModeratorに突っ込んで投票していった Mar 19 ▼
り、Moderatorでアイデアをもらって、それをWaveでどうやるかディスカッションしたり。。



Fumihiko Kato: ありがとうございます。 Mar 19 ▼

自分の作ったGoogleサイトのアカウントを開放しますので、編集して下さる方いれば、ご連絡お願いします。

連絡先は、今載せます。

japancoop@googlegroups.com

を上記リンクの問い合わせ窓口にし、MLを作っております。

登録してもいいアドレスがありましたら、上記メアドまでお寄せください。

Moderatorは使ったことないので、これから導入します。



Tomo.takahata@googlewave.com:

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: あ、いえいえ sitesとModeratorもうありますので大丈夫です！
<https://www.google.com/moderator/#16/e=6441b> <https://sites.google.com/site/hackforjapan/>

Mar 19 ▼



Fumihiro Kato: すでにあるんですね。ありがとうございます。

Mar 19 ▼



Kosei Kitahara: ロジスティックですが、現状必要な物資をリアルタイムで収集する仕組みと、それに対する寄付等の支援ができれば。支援物資が偏ったりするのを避けられそうかなと。

Mar 19 ▼



Donkun77jp@googlewave.com: ロジスティックですが、食料の需要は、その避難所の構成人数で毎日の需要量を先々まで計画できると良いと思う。そうすれば、供給側も「この被災地は2日先まで大丈夫」「この被災地は、3日先まで大丈夫」などがわかり、配達の優先順位が決められる。

Mar 20 ▼



Fujii Yosuke: 「もうこんなものを作ったよ」という開発報告/ってあるので、Androidアプリのリンク→http://androapp.jp/lib/soft/detail.php?soft_id=1898
ストアには多分AndroAppさんが代わりにアップしてくれてる・・・はず。

Mar 19 ▼



Fujii Yosuke: 一応Web版っていつてあるけどそっちはまだGAEでゲストブックつくってデプロイしただけだから、あんま役に立つものではありません。
一応ホームページつくってるので→<http://sites.google.com/site/saigaitta/>

Mar 19 ▼



Fumihiro Kato: <https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to>
こんなものを作りました。

Mar 21 ▼

避難所の状態を把握して、情報を皆で共有し、支援の進捗に応じて、携帯やiPhoneなどから情報が更新できれば、皆で使える共有リストとして役立つと考えています。

支援全体を俯瞰し、采配を行う必要があると思いますが、行政が現状それをやっているとは思えません。
支援が必要な避難所を探し当てるのは、Twitterや知恵袋、ブログ、現地に直接聞く、取材に行ったマスコミ聞くなどすればよいと考えています。

一応、iPhoneから見られたのですが、iPhoneからは編集できなかったの、携帯やスマホでも編集可能なプラットフォームをご存知でしたら、教えてください。



Kazuki.ohata@googlewave.com: Twitterのタイムラインをリアルタイムに解析し、地震関連情報を抽出するサイトを作っています。着々と精度上げを頑張りたいと思います。 > <http://quakememe.jp/>

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: ぜひもっと詳しい中身も宣伝しちゃってくださいw < QuakeMeme

Mar 19 ▼



Kazuki.ohata@googlewave.com: 了解ですw 内部的には以下の3ステップでURLリストを生成しています。

Mar 19 ▼

1) Twitterクローリング

#jishin や #anpi 等を含む180個の地震関連のタグを指定し、Twitter UserStream APIで、リアルタイム検索エンジンに突っ込んでいます。

2) 検索

検索エンジンに対して、"anpi | 安否" で検索をかけると、その単語を含むTweetが全て取れます。表示されている各カテゴリには、対応する単語が設定されており、定期的に検索が行われています。

3) URL分析

最後に、それらの Tweet に含まれるURLを解析してカウントします。現状ではヒットした最新5万件のTweetからのみカウントを行っています。そのため、見る時間によってリアルタイムに内容が変わっています。

まだクローラーの文字化け問題とか、PDFどうするのとか、画像取りたいよねとか、細かい問題が山積みなので、連休中にそちら

を直そうかと思っています。あと、どうやって宣伝したら良いかもご意見欲しいです！



Dai MIKURUBE: 宣伝文句だけ聞いて「Twitter の発言を整理」なのかと思っていたら違ったんですねw 注目URLが集まっていっていい感じですね。

Mar 19 ▼

すみません、細かい興味なんですけど、これ解析をやってて、デマっぽい情報と違ってどんな風に見えてきました？ 有用な情報と并列に並んでしまうのかとか、デマ系は参照先URLが実はないことが多いとか...



Kazuki.ohata@googlewave.com: 現状、デマ対策は何もしていません...w "URL"が対象であって、"ツイートそのもの"が対象ではないので誤情報が上に来る確率が下がっているのかなと？

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: なるほど。それだけでもデマ情報が割と削れるというのは (当初の目的ではなかったかもしれませんが) 一つ大きなメリットですね。URLはいいフィルタになるのか...

Mar 19 ▼



Shigenori kamata:

Mar 19 ▼



Tmiyamon: 同じような事を考えて作ってたところでした。避難所の状況をインフラ別 (水、電気、燃料など) や支援物資が足りない、どれくらい切迫してるかを設定して、google map上にマーカで色分けしたら、どこを支援すべきかわかって便利かなと

Mar 19 ▼



Aya Komuro: 単純ですけど、買い占め抑止アプリとか、あればいいと思います。被災者以外の人が家にある食材とかトイレットペーパーとかを入力しておけば、購入際に買うべきかどうか分かるアプリなど。。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: 欲しいですね、買い占め防止。確かに、今何が家にあったかを把握するだけでも、減らせるかもしれないですね。あとはやはり、わかっちゃいるけど不安でつい多めに買ってしまふ、というのがあのような気がします

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: 買い占め抑止欲しいですね。。。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: もっと広い範囲でモノのありかを可視化できると、罪悪感が湧いて買い占めを防止できるのかもしれないですね。被災地には今これだけのパンがあります、あなたの街にはこれだけのパンがあって何時間以内にこれだけ届く予定です、とか地図上に...

Mar 19 ▼



三井雄貴: 図書館とか本屋とかだと、どの本が何冊残っているかという情報を利用者がWebなどから調べられるので、それと同じような事がスーパーマーケットやコンビニでも出来ると、どこにどれだけ物が無いのかというのが把握しやすくなるんじゃないかなと思っています。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: なるほど、図書館は確かにそういうのがありますね。Androidアプリもあった気がする。流通の方々あまり情報を出したがいかもしれませんが、被災地の方はそもそも正確な情報を把握できない可能性も高いですが、その辺はソーシャル :) で情報が集まるかもしれないなあ、と思います

Mar 19 ▼



Takuya: Inventory情報や流通網の情報を可視化することだと思いますが、可視化によりさらに心理的な作用が働き悪影響を生むこともあるかと思っています。本当にあるものがしばらくしたらまったく入手出来なくなる可能性が高いとわかったら、それを買い求める人でパニックになるかも。どうしたら良いんだろう。

Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: 確かにそうですね。被災地のほうが明らかに少なければ抵抗が生まれるかと思ったのですが、地元がほんとうに少ないとパニックを起こす可能性はありますね。今回の場合、東京方面は本当は割と物があつたはずという話(噂?)だったのですが、そのあたりのデータをぜひ見てみたいところです。

Mar 19 ▼



Fumihiko Kato: ああー、確かに、物流トラックドライバーの携帯のGPSとか、トラックの位置を流れとして可視化して、どこからどこに向かっていますよとか地図上に表示できたら、あー、来ているんだって、安心しますよね。

Mar 19 ▼

一方で、買い占めてしまうのは、主婦方が、このさき不安定になる物流を憂いて、家族の為のことを考え、多めに買ってしまふ、それも、周りがたくさん買うのに流され、棚の在庫が少ないのにも驚きながら買っているような気がします。土日と

スーパーの売り場観察していて、そう感じました。

だから、罪悪感と不足への恐れで怖れが勝ってしまっているの、そもそも、スーパーに被災地へ向けての物資支援窓口を設置すれば、良いのではないかと思います。

つい買いすぎちゃったけど、物資寄付しましょうってw



Fumi Yamazaki: うお、それいいですね。

Mar 19 ▼



Yoshihiro Sugi: 罪悪感に訴えかけるサービス！w

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: 被災地域外の人に継続的に支援に興味を持ってもらい続けるための情報提供があるといいと思っています。具体的なアイデアはないのですが、

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: 復興には中長期的に支援し続ける必要があると思うので、人々の関心が高いうちにアプリを作つて、継続的にUPDATEして注意喚起を中長期的にできるといいと思うんですが、どうでしょう？

Mar 19 ▼



Arinobu FUKUHARA: 継続支援をサポートするための仕組みは必要ですよ。私も特にこれといったアイデアがあるわけではないのですが、、、TVのDASH 村っぽい感じで、定期的に各所の復興情報や足りないものの情報が流れてくれば、サポートする側の興味も持続するかもしれません。

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: それいいですね。支援する自治体と支援される自治体をカップリングするようなニュースを見ましたが、それと同じように自分が支援しようと思う自治体を選択しておく、その自治体のいまの様子がPUSHされてくるようなのを、ぼんやりと考えていました。

Mar 19 ▼



Teru.Shindo: これから継続的にチャリティイベントなどが行われるでしょうから、チャリティイベントマップとかチャリティイベントカレンダーとか（できれば両者が自動連動）あるといいかもしれませんね。で、現地に行くとLatitudeでチェックインするとか。

Mar 19 ▼



Tomo.takahata@googlewave.com: 被災地にお年寄りの方が多くて、老眼だったり耳が遠かったりすると思うので、そういう人たちが、自分で確かめやすい表示の仕方とか、音声の伝え方とかにできると、よいのかな、と思いました。老眼鏡とか補聴器とかもきつとないのではないかと思います。

Mar 19 ▼



Arinobu FUKUHARA: もしくは、お年寄りを支えてあげる人たちの助けになるような物、とかですね。被災地にお年寄りが多い、という点は注意すべき点だと思います。

Mar 19 ▼



Tomo.takahata@googlewave.com: お年寄りの方に、若いころの昔の曲が聴けるサイトとか作ってははどうでしょう？若いころの曲を聴いて気分を明るくしたり、元気を取り戻したりできるのではないかと・・・

Mar 19 ▼



Makoto Yamazaki: 地震直後はバッテリーの温存と情報の収集をどこでバランスを取るかが悩ましいです。スマートフォンで常時twitterを更新する使い方よりも電力消費の少ない方法が提供できるといいなと

Mar 19 ▼



Takuya: 必要な情報を取得するためのキーワードを登録して、それに関連するツイートをいくつか束ねてプッシュでスマートフォンに配送するようなイメージでしょうか。

Mar 19 ▼

Twitterをどのように使っているかの利用シーンがどんな感じがわかると機能のイメージがわきますね。



三井雄貴: Googleアラートがもっと汎用的だとバッテリーのことを気にしなくてよくなるのかもしれない。

Mar 19 ▼



Fumiko Kurano: 震災の日に筑波で避難難民になったのですが、まず帰れるかどうか、Twitterで東京の状況を確認していました。（現在京都在住）

Mar 20 ▼

避難中は、筑波の自治体の方のtweetを当日一緒だった方が常に確認しており、非常に状況把握しやすかったです。また知り合いもお台場近くの学会会場で避難難民になっていたの、その学会のハッシュタグを追っていました。

当日一緒だった方がバッテリーが無くなった場合を考えて、バッテリーを温存していました。



か？

TakuyaOkamoto: 現在、各報道機関（TV）から被災された方から親戚・友人へ向けてビデオメッセージが報道されていますが、相手が見逃すと伝わらないのでは。。。と思っているのですが、ビデオメッセージをまとめたサービスはできるでしょう



Takashi MATSUO: <http://www.youtube.com/shousoku>

実はこういうのがあります！



TakuyaOkamoto: 既にあるんですね！ありがとうございます！



TakuyaOkamoto: TBSから提供されているのですね。他の局から提供される予定はあるのでしょうか？（権利的な問題があるとは思いますが。。。）



Atusi nakamura: テレ朝はすでに動いているようです。



Hideaki Kiko: 日テレもあるようです。 <http://bit.ly/fyWsti>



Takashi MATSUO: ソースを増やす努力は続けています。



TakuyaOkamoto: 対応されているんですね。重ね重ねすみません。



Fumi Yamazaki: いえいえ、知らない方が多いということですから、ここで洗い出してまとめることに意義があります。ありがとうございます！



Hisayori Noda: 幾つか疑問に思うことがあるので質問させていただきます。

- ・被災地には情報端末はどの程度あるのでしょうか？Android端末を被災地に無償提供出来ませんか？
 - ・電源はどの程度確保できるのでしょうか？
 - ・ネット回線は生きているのでしょうか？固定回線からダイヤルアップ接続は可能でしょうか？ダイヤルアップ回線を無線LANで共有する事はできないのでしょうか？
 - ・被災地には携帯端末を扱えるだけの最低限の機械の扱いが出来る人はどれくらいいるのでしょうか？
- 地域によって違うとは思いますが、どのようなケースがあるのか知って、それぞれに対処出来ればと思っています。よろしくお願いします。



Dai MIKURUBE: 今のところまだ正確な情報がわかっていない、というのが正直なところなのかなあ、と思っています。

伝聞の伝聞レベルでは、被災直後に被災地からのTweetなどはほとんどなかったという話なので、しばらくはどこかが無かったのでしょうか、という想像はできるかなとか。

家の回線を無線LANで共有は、もしかしたらひとつの道になりうるかもしれませんが（元の電話回線が切れている可能性も高いですが）FONなどのサービスが助けになるかなあ、というところでしょうか。



Hisayori Noda: NHKの生中継を見ていると、現地の方のインタビューで情報が欲しいと仰っている方が多く、まずはネットにアクセスできるよう整えられると良いのではと思いました。これも中継の中で言っていたことなのですが、避難所によっては緊急の固定回線が8本程度設置されているということで、これとダイヤルアップ接続、無線LANルーター、Android端末、電源タップをセットにして送れば、情報へアクセスできるようになるのかなと思いました。



Teru.Shindo: 地域によってはまだ中継車がきていない所もあるようなので（地元にあるDocomo支店が流されたとかで時間がかかっている、など）、そういったところへのフォローをする必要もあるのではないかと思います。長距離用の無線LANアンテナなどで通信する方法などもありますが、いずれにしても電源が確保出来ていないといけな



Hisayori Noda: 復旧の段階によって異なると思うのですが、例として

- ・固定回線有り+電源あり

- >電源タップ・ダイヤルアップルーター・無線LANルーター・Android端末 でネット利用可
 - ・固定回線無し+電源あり
- >上記+長距離用無線LANアンテナ+無線LANブリッジ
 - ・固定回線無し+電源なし
- >上記+発電機



Teru.Shindo: そうですね。あとはUSB通信機器（WiMaxやE-mobileなど）を利用出来るルータ（YamahaのNetVolanteシリーズ）を借りればのちのち接続経路変更が必要な場合などにはいいと思いますが、正直現時点でそこまで必要かは微妙だとも思います。 Mar 19 ▼

という形になりますでしょうか。



Shigenori kamata: どの復旧段階に向けたサービス開発を行うのが良いか、ターゲットとする復旧段階をこちら側で絞った上で開発にあたるのが現実的かもしれないですね。現状の把握と復旧のスピードが分かれば、より効果的に対応できるのでしょうか、どうしたものか。 Mar 20 ▼



Stingraze@googlewave.com: WDSでつながる無線LANのエリアを拡張できれば無線LANのエリアが広がりますよね。 Mar 19 ▼



Makoto Yamazaki: IAA(I Am Alive) Alliance という活動が数年前にうまくいなくて解散してます。ここからなにか学べることがあるかも。 Mar 19 ▼



Woonger:

Mar 19 ▼



の: プログラミングには興味がありますが、自分ではできなくて憧れているレベルの小児科医です。今回のイベントにとっても共感を持ちました。 Mar 19 ▼

小児科医として、今回の震災でこころのケアがとても重要になってくると思います。東京都福祉保健局により <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/video/leaf/files/saigai.pdf>

このようなPDFファイルが作成され配られています。この11ページや12ページの質問項目を使って、スクリーニングツールを作成したり、携帯端末でこの資料にあるような内容を一般向けに分かりやすく伝えるツールを作成したりすることは可能でしょうか？もちろん、こころのケアは短期的な問題ではなく、中長期的な問題になるのでまさに、これからの課題だと思います。



Takanori Suzuki: これはたぶんgoogleスプレッドシートのアンケートフォームを用いてプログラミング無しでも実現可能かもしれません。まずはモデレータの方に登録されてはどうでしょうか。 Mar 19 ▼



の: モデレータというのが会ったんですね。登録させて頂きました。ありがとうございます。 Mar 19 ▼

<http://journal.mycom.co.jp/series/googleapps/007/index.html>

自分もちょっと調べてみます。



Takanori Suzuki: 自分に返信だけど、googleスプレッドシートのアンケートフォームだとスクリーニング結果をアンケート対象者に表示するのはできなそうな感じでした。あまりgoogleスプレッドシート詳しくないので、「そんなことないよ、できるよ！」って方は書いてくれるとありがたい。 Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: JavaScriptを利用したWebサービス前提として考えると、Visualization APIとの組み合わせで可能かと認識しています Mar 19 ▼



Takanori Suzuki: ほうほう、なるほど。アンケートの最後でどこかのWebページに飛ばすようなことが可能？しかもアンケート対象者個別に結果を表示する必要がありそう。 Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: 外部のウェブページからgoogleスプレッドシートをデータベースのように利用していれば、「googleスプレッドシートをデータベースとして利用し、ユーザーアクセス時に最新のデータに基づくグラフ表示」は可能かと思います Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: すいません。上記の内データを外部から処理して保存する、という Mar 19 ▼



のはJavaScriptだけではできないかもしれません。一つ前の返信を訂正しておきます。



Fumihiro Kato: GoogleSiteというサービスを利用すれば、Webプログラミングなしで、リストの項目のソートくらいはできる様です。

Mar 19 ▼



Tatsuya Miyoshi: 重要な課題だと感じます。

Mar 19 ▼

質問項目を作ってスクリーニングツールを作成することももちろん簡単に可能です。
病気を発見する以外にも、経過観察や治療に必要な機能もありますでしょうか？



のの: 今、サンフランシスコからですが、こうしてリアルに返事を頂けるのは驚きでもあり、有難いことです。

Mar 19 ▼

私は小児科医で、精神疾患は詳しく有りませんが、今回色々勉強して居ます。経過観察（に必要な項目）についてはまた調べて見ます。



Roishi2j2@googlewave.com: 電源の不足は深刻ですね。でも余ってる古い携帯のバッテリーって各家庭にたくさんあるはずで、それを充電して被災地に送れないかなと。ただ危険なので輸送にはかなり注意を払う必要がありますが

Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com: こういうことをソーシャル的にできるサイトがあればよいかなと。たとえば、余った携帯のバッテリーを必要な人にマッチングできるサイト。

Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: auのポータブルバッテリーチャージャーっていうのがauショップで売ってて、それ自体に充電できるものなんですが、一回分はフルチャージできるくらい優れものなんですよ。これさえみんな持ってたら・・・と思わずにはいられませんでした。マッチングサイトにその辺乗りたいです。普及の啓蒙というか。

Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com: ZAGG sparq 2.0 とかはiPadも60%充電できますし、スマートフォンなら4回充電できるんですね。たぶん、すごく便利な気が。

Mar 19 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 充電関係の支援・配送、及び向上のためのディスカッション、これらのためのサービスを願います。

Mar 19 ▼

また大規模被災地でない限り無線LANの開放はありませんでしたが、静岡の沼津あたりでもフレッツサービスが停止したりしました。その時役に立ったのがイー・モバイルやWiMaxです。これらはバスパワーUSB端末でインターネットに接続することができます。充電関係と同じく、マッチングサイト・普及啓蒙・ディスカッションに追加したいです。



Roishi2j2@googlewave.com: 被災地の人がスマートフォンを持っている可能性は低く、何らかの情報発信するためにはガラケー向けに最適化する必要があります。逆に言えばそれができれば、情報配信の問題はかなりクリアされるのでは?と思ったり

Mar 19 ▼



Hideaki Kiko: ガラケーで<http://sinsai.info/>の情報を閲覧できるサービスを作りました。 <http://ushahidi-m.appspot.com/>

Mar 19 ▼

Ushahidi API を利用して Incident のデータを取得しています。定期的にデータ取得、DB更新しているので、sinsai.info さんへの負荷がなるべく掛からないような実装にしています。



Me: 安否確認の仕組みに第三者的、ソーシャルな方法を補強できないだろうか？

Mar 19 ▼



Me: 一昨日、友人が話してくれたのですが、

Mar 19 ▼

Person Finderのような検索の仕組みで、人名をキーにするのではなく、顔写真などによるマッチングの可能性を提示してくれました。

人間の記憶の特性なんです、

"近所で見た"とか、"よく見るパン屋の店員"、"近所の子供"といったような、視覚的情報（要は顔）は覚えているらしいです。

そういう、文字としては不確定な要素からでも、検索が可能になればよいといった感じでした。



Akira Onishi: 確実な同定ではなく、たぶんこんな人がいるよ、という特徴としての情報を交換する仕掛け

Mar 19 ▼

なんでしょうね。顔の知らない同志が、初めて会う場合に交換するような情報。身長どれくらい、髪型、など。パッと見の記憶から、検索可能なメタデータをどれだけ集められるか、というところを支援できればいいのかもしれない。



Me: 被災者、依頼者の検査タグへ通常の個人情報の他に、
第三情報を付加させるところがミソ

Mar 19 ▼

たとえば

個人情報、
タナカアキオ 37歳 XX市X町1-1-1
090-0000-0000
会社：まるまる商事、まるまる地区所在
家族：太郎、花子、共蔵、ポチ（家族構成はプルダウン等で確定すること）
親戚情報：
アドレス帳情報：差し支えない範囲でその人の関係性に関する情報の提供

第三者情報

近所：セブンイレブン海山店、シェルXX地区店（たとえば土地情報）
被災前第三者関係：佐藤丸尾、山本さん、タバコ屋のスズキさん（居住地域の第三者情報の提供）入力させるロジック、タグは要検討
現在の第三者関係：三角中学校避難所：山田多呂（●知人）、川崎次郎（●会社）、佐川英多（●学生時代友人）”現在自分の場所にいる人の情報提供”
画像（携帯にある顔、場所）
GPSデータ

という感じ。

- ・探しやすいさせるために、はじめにポストされた個人情報をソーシャルで詳細化する。
- ・第三情報を活用し、サーバーによって”人間関係”のリンクを作り、個人確定の最適化に寄与。



Montego-blue: はじめまして。Seigoさんの友人です。

Mar 20 ▼

ドキュメント作成してみましたので提案致します



Montego-blue and me:
Ideas

Mar 20 ▼

- 文字以外での安否確認方法の提供
 - 第三者が介入できるIT上での情報提供
- ということができればいいなと考えております。

実際の行動など、ニュースを見たときに
被災者の方々が、人づてに情報を得て探しているということを知りました。
ネットワーク上でもソーシャルな方法で安否確認の貢献が出来ないでしょうか。

当方エンジニアさんではなく、デザイナーをやっております。
デザイナーの観点で何か貢献できればと考えております。

技術的なことは詳しくありません。アイデアは技術的というよりも
ユーザーユーザー視点で思いつくままに提案してみました。

よろしくお願いします。



■文字以外での安否確認方法の提供

■第三者が介入できるIT上での情報提供

idea:

写真(画像認識を利用ベスト)および個人に付随する関連情報による、安否確認サイト

概要:

現状の安否確認サービス(名前・電話番号といった文字による個人名を特定できるというのは既にサービスされている)に対して、画像(顔写真・画像認識)を用いた検索を付加する。

日常生活のコミュニティにおいて、個人名は特定していなくても「顔は覚えていて」ということのほうが多い。

たとえば、「マンションの6階に住んでるおじさん」とか、「よく見るパン屋のおネーサン」、「いつも公園で見る子供」といった視覚情報による個人認識のほうが多いと考えられる。

震災により情報交換の手段、家屋倒壊等住所といった特定できる情報が壊れている中「〇丁目に住む鈴木さん、髪は長い、25歳くらいのコンビニでアルバイトしていた女性知りませんか」という第三者を頼りに検索をする場合、「名前は知らないけど、髪は長い女性なら、よくいくコンビニのレジで見たことある。もしかしてあの家に住んでるお嬢さんかな」という記憶を手がかりに、第三者が「XX避難所でコンビニの服を着てた女性(鈴木さん)に似ている人見ました」という情報提供することは可能です。検索対象となる個人名とその人の特徴によって関連情報が得られやすくなると考えられる。

その人が「鈴木さん」であることを知らなくても、「コンビニ」「髪は長いお嬢さん」ということから、関連情報を知る第三者が個人特定に協力することができると考えられる。このことから、WEB上でも個人名のほかに、その人に関する「関係情報」を付加することで検索該当率の向上に寄与できると考えられる。

個人特定の確率を上げるために、「画像」と「個人に関連するタグ情報」を捕捉することで、個人特定できる確率が上がると考えられる

利用機器:

ケータイ、PC、スマホ(画像を利用する場合はカメラつきであることが条件)

依頼人は、検索したい人を入力することで検索可能
検索の際は個人名TELでできるほか、
個人名を特定できなくとも、特徴や親戚名、関連性を入力することで
複数の候補を表示し、発見できる確率が向上する
画像も、被災者が自分の写真を登録してさえいれば、依頼者は手持ちの
検索対象写真をUPすることで画像検索も可能

被災者は、「画像、文字、関連情報」を登録することができる

第三者も検索した際に、避難所で見かけた場合に、関連情報を元に
人探しに対して協力することができる

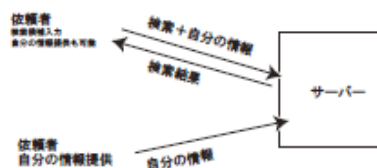
顔写真つきで、「この人を探しています」と依頼者が検索依頼をあげた場合、
顔だけ知っている人でも情報提供が可能

被災した方は、自分の画像を登録し、いくつかのセキュリティレベルで
情報の公開が可能
Ex:全体公開:名前、住所、

検索用タグ(相手からは見えない):
電話番号、身体的特徴、プロフィール、知ってる限りの名前
(親戚、友人、ペット)。。。。

これらの入力した情報のマッチング度が上がれば、確定しやすく、
合致した比率が高ければ、個人情報開示セキュリティレベルを下げる
(信頼度が高いとする)

関連情報によるマッチング精度の向上とあいまい検索が可能



第三者の介入による情報提供

第三者も検索した際に、避難所で見かけた場合に、関連情報を元に
人探しに対して協力することができる

依頼
佐藤大吾さんを探しています

佐藤大吾
宮城県〇〇市XX町

投稿する

名前をはっきりさせませんが、
ガソリンスタンドで働いている人でしょうか？
その人なら、〇〇小学校の避難所で見かけました

あいまい検索

あっ！コンビニのお姉さん、
避難所で見た

検索結果：1丁目地区の登録者



入力情報

視覚情報

個人基本文字情報

山田太郎 宮城県〇〇市XX町1-1-1
000-000-1111
090-1234-4444
家族：父親・雄三 | 母親・花子 | 妻・梓子 | 長男・次郎

個人に関連するタグ

身体情報：57歳、173cm、63kg、色黒、コンタクト利用、右歯治療

親戚：山田次郎、山田三郎、山田五郎
親戚に関する場所：宮城県仙台市、東京都豊島区

職場：海山水産
勤務情報：〇〇市△町3-3-3、000-00-0000、海山社長、〇漁業組合

友人：佐藤一郎、中村花子、加藤茶、清原大樹
勤務情報：△山高校教師

近所：山本順次、木村トメ、藤田剛、山田真一
勤務情報：XX町1の住民

関連キーワード：トヨタXXセダン白、作業服、ラーメン、170cm、帰宅中に被災

画像(セルフでとったもの、写真のキャプチャなど、公開)

現状のサービスに準じた情報(セキュリティに反しないレベルで公開)

検索のための個人移管する関連情報(ここは公開しない)
関連項目は、人探しの際にありそうなタグを利用、任意で追加可能



Takanori Suzuki: ここに既に挙がっている、開発済みのサイトをまとめた一覧サイトが欲しいですね。分類別に。

Mar 19 ▼



Fumihiro Kato: それは欲しいですね。まとめ役がそろそろ欲しいところでしょうか？

Mar 19 ▼



K s: ちょっとまってね。

Mar 19 ▼



K s: 災害関係のサイト一覧。APIは含めてない。このプレストで言及されてないものも含む。どこか別の場所においたほうがよければ適宜コピペしてください。

Mar 20 ▼

Google 災害情報ページ (Crisis Response page)

<http://www.google.com/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011.html>

Yahoo! JAPAN - 地震・津波災害に関する情報

http://weather.yahoo.co.jp/weather/2011sanrikuoki_eq.html

東北沖地震 震災情報サイト sinsai.info

<http://sinsai.info/>

ガラケー閲覧

<http://ushahidi-m.appspot.com/>

Person Finder

<http://japan.person-finder.appspot.com/>

テキスト化&登録まとめWiki

<http://www45.atwiki.jp/ganbare-tohoku/pages/16.html>

略字、旧字、クセ字など：避難者名簿をテキスト化している有志の皆さんへ | makewisteriaのブログ -

<http://goo.gl/r6sSx>

パーソンファインダーで名前を検索して最後の場所が登録されていたらプロットする地図。

<http://goo.gl/5TzyN>

東北関東大震災（東北地方太平洋沖地震）@ウィキ

<http://www46.atwiki.jp/earthquakematome/>

義援（義捐）金・寄付支援まとめ@ウィキ

<http://www47.atwiki.jp/gienkin311/>

東北地方太平洋沖地震動画まとめ

<http://www47.atwiki.jp/100311/>

東日本(東北地方太平洋沖)地震情報まとめ

<http://saigai01.web.fc2.com/>

災害対策WIKI*東北地方太平洋沖地震

<http://saigaitaisaku.wiki.fc2.com/>

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）「災害ボランティア情報」まとめサイト

<http://www45.atwiki.jp/volunteermatome>

savemuseum @ウィキ-東日本大地震によるミュージアムの被災情報・救援情報

<http://www45.atwiki.jp/savemuseum/>

savelibrary @ウィキ-東日本大地震による図書館の被災情報・救援情報

<http://www45.atwiki.jp/savelibrary/>

savearchives @ウィキ-東日本大地震によるアーカイブズ関連施設の被災情報・救援情報

<http://www47.atwiki.jp/savearchives/>

japancoop：被災地別避難所状態リスト（福島）

<https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken>

We help us: ツイッターの発言と地図をつなげることでどこで誰がなにを必要としているのかを可視化

<http://kuippa.sakura.ne.jp/>

自動車・通行実績情報マップ

http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_traffic.html

消息関係：動画

TBS

<http://www.youtube.com/shousoku>

日テレ

http://www.dai2ntv.jp/infotainment/message/000001236z_01.html

ツイッター

Journalist Wall of Shame : デマ関係

<http://jpquake.wikispaces.com/Journalist+Wall+of+Shame>

Twitterのタイムラインをリアルタイムに解析し、地震関連情報を抽出

<http://quakememe.jp/>

Official and Media Logs : 東北地方太平洋沖地震のメディア・公式情報のまとめと動画・ニュース・Twitterの横断検索を提供

<http://om-logs.appspot.com/>

ANPI NLP : 東日本大震災のためのデータマイニング・自然言語処理に関する情報のページ

http://trans-aid.jp/ANPI_NLP/index.php/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8

笑ってもらう : 参考に

<https://kayac.com/service/original/704>

写真はflickrとかウィキメディア・コモンズで手に入ると思う

翻訳関係

honyaquake

<http://www.facebook.com/pages/honyaquake/158201144237646>

人手による翻訳のツールとして、メールで翻訳ボランティアに翻訳依頼し、メールで翻訳結果が帰ってくる仕組み

<http://www.finite-field.com/isometry-2-0-ja/volunteer>

ローマ字

<http://mohawk.sakura.ne.jp/english-romaji>

簡単な翻訳一覧表の例

<https://spreadsheets.google.com/ccc?key=0AtK5QLIYWYUIdHo0ekptbE42Vmo3NVI0REVVCmxnUUE&hl=en>

Google Translate Crisis Response 版

http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_translate.html

都道府県別外国人数

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001065021>

iPhone用 地震対策音声読み上げ

<http://goo.gl/rG5rH>



Arinobu FUKUHARA: おお、これはよいまとめですね。

Mar 19 ▼



Tmiyamon: すばらしいー。今後のためにもurl抽出するrobotでも書きますかね。

Mar 19 ▼



Fumikazu Fujiwara: 手前味噌ですが 給水所マップ <http://kyusuisho.appspot.com/>

[API]

最も近いマップAPI <http://kyusuisho.appspot.com/apis/nearest.xml?lat=0.0&lng=0.0>

掲載市町村API <http://kyusuisho.appspot.com/apis/areas.xml>

[アプリ]

Android版 https://market.android.com/details?id=com.appspot.kyusuisho.android&feature=search_result

Mar 20 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: 都内では対策の話だけが一人歩きし、実際の放射線量や、その危険値についてよく理解されていないように感じました。いくつかの地点で測定された放射線量をGoogleMap x WebGL と描画系ライブラリで直感的に表示できないでしょうか。

Mar 19 ▼



Erdao: 放射線が微量でも物流が届かなくて孤立しているという話も聞きます。情報の可視化で風評被害をなくした

Mar 19 ▼



いですね



Aimaimokomoko@googlewave.com: そうですね。それができると救援物資の行き渡りを促進するだけでなく、復興の妨げになるような風評を無くしたいです。 Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: 個人的にイメージしたのは「距離の二乗に比例して放射線が弱まる」という（仮）説に従い、福島第1原発を中心として $y=-x^2$ の放物線をくりと回転させた3Dモデルをプロットし、おおよその放射線量を表示する、というのが一つです。



Kuippa: <http://kuippa.sakura.ne.jp/nuk.html> シンプルなやつだったらつくりました 科学に馴染みのないひととは減衰 といってもイメージわかなそうところが問題ですが。 Mar 20 ▼



Tomoe: 各サイトで、色々なフォーマットでデータがでていっているので、統一的なschemaを定義してxml、jsonのような形式でまとめたたいとおもっていますがどうでしょうか。 Mar 19 ▼



Gootan: 各サイトのデータをスクレイプして、統一形式のRESTサービスを作り、RESTサービスを登録するとクローリングしてDB登録してくれ、登録されたデータは自由に使えて表示するサイトも別途作成、という感じで、みんなで分担して作れませんか Mar 19 ▼



Erdao: <http://atmc.jp/> Mar 19 ▼

とかでこうかいしてたりするものもありますが、福島のは別だったりまとめたたいです。FusionTablesでテーブル組むとか。ちょっとだけつくってみたのですが(3/17)

<http://erd-radmon.appspot.com/>

あとは人力でデータを反映させていくとか、データが自由に扱えるようにしたいですね



Tomoe: なるほど。統一的なデータ形式が必要という点では間違いありませんね？ Mar 19 ▼

わたしも、GAE と googleのvisualization APIをつかったりしていたのですが、やはり肝心のデータの形式がバラバラで、アプリ作者にとっては困るとおもいます。

<http://ganbare-tepcu.appspot.com/fukushima1>



Aimaimokomoko@googlewave.com: 確かに体系的なデータが必要ですね。これをどうやって作るかと考えると人力が主になってしまいますね。むむむ Mar 19 ▼



Tomoe: 奥村さんという方が、csv形式に変換してくださっていらっしゃるので、それをもとにデータのフィーダーを作ろうかと考えていたところでした。 <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/stat/data/> (蛇足ですが、vimiumのショートカットに邪魔されて入力に苦労しました:(Mar 19 ▼



Erdao: 大元の情報がある程度HTMLのTableとかで組んでくればCrawlしやすくはなるんですけどね。何故PDF。。。 Mar 19 ▼



Tomoe: たしかに。。。しかも、画像になってるやつもあるとか。。。 Mar 19 ▼

そういったデータをpdfから取り出せるparserなんてあるんでしょうかね。



Aimaimokomoko@googlewave.com: 東電は計画停電はエクセルで出してくれたんですがね...Data APIを使えという事なんですか。 Mar 19 ▼



Tomoe: Data APIとはなんですか？ Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: こんな感じ(Mar 19 ▼

http://code.google.com/intl/ja/apis/documents/docs/3.0/developers_guide_protocol.html#OCR)のサービスです。すいません今確認したら日本語対応してないかもです。



Tomoe: おもしろいですね。OCRですね。データ抽出するぐらいならなんとかなるかもしれませんね。 Mar 19 ▼



Tomoe: ちょっと東電データとか、文科省のデータを投げてどうなるか試してみましょ。 Mar 19 ▼



大垣憲俊: はじめまして唐突に失礼します。公開データがPDFで難儀な件、試したところ、PDFBoxを使ってPDFファイルからレイアウト通りのテキストが抽出できました。これであとは、データ公開を監視してダウンロードし変換して保存して、応答に応じて、JSON形式で返すWebアプリに仕立てれば良いのではと思います。PDFBoxのサイトからpdfbox-app-1.5.0.jarをダウンロードし、以下のコマンドを実行してみてください。
`java -jar pdfbox-app-1.5.0.jar ExtractText -sort -encoding UTF-8 XXXXXXXX.pdf` Mar 21 ▼



TakuyaOkamoto: 可視化のところで思うのですが、放射線量を表示すると同時に、その値が日常生活の放射線量と比較できたらいいと思いました。CTスキャンよりかなり小さいので安全とか。 Mar 19 ▼



Tomoe: そうですね。都心でもマスクしている人が激増しています。みんな見えないし、数字を聞いても評価尺度がわからないから、余計不安になるんでしょうか。 Mar 19 ▼



Shinichi Ogawa: > 都心でもマスクしている人
花粉症が大半だと思ってましたが。個々数日強烈すぎて目がツライくらいなので…。 Mar 19 ▼



Tomoe: あ、たしかに花粉症の方はいらっしゃいますね。 Mar 19 ▼



Nobuu Nakata: 世界中の観測データと比較できるようにすると良いのでは。 Mar 19 ▼



Tomoe: たしかに。南米のどこかの国では、比較的高い放射線を受け続けているとTVで言っていました。場所によらず、入手できるデータを対象にするのがいいのではないのでしょうか。 Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: そうですね。ただ現状の放射線量でグラフとしてプロットすると「危険値(100,000マイクロSv)」や「CTスキャン(6,000~7,000マイクロSv)」が突出して表示されてしまうので、ユーザーが表示する情報を選択→それに応じて描画等の工夫が必要になるかもです Mar 19 ▼



Akira Ishino: 風評被害を防ぐという目的には同意するのですが、放射線量が何を意味するのかなどを理解して、ちゃんと解説できる専門家のアドバイスなしに、この手の情報を出すことはよくよく考慮が必要だと思います。(すみません、ネガティブな意見をブレインストーミングに持ち込みたくないのですが、このネタだけはセンシティブなので) Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: 仰る通りだと思います。ただ、その「放射線に対する理解」という点で満足できるサービスは今でも多くないように感じます。しかし利用を想定する状況がそもそも横目でチラッと参照する程度のイメージだったのでその点は考慮が足りていませんでした。 Mar 19 ▼



Tomoe: (あくまで個人的意見です) 情報を出すという点については、データは紛れもない事実ですので、問題はないと思います。その情報の解釈の仕方については、仰るとおりとても気を使う必要がありました。 Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: もっと考えるレイヤーを下げて「放射線量に対する画一的で多数の方が利用できるデータベース」など間口を広げることも検討したいと思います。 Mar 19 ▼



Tomoe: データの見やすい形での提供、に注力するのがいいのかもしれませんが。その解釈は、専門家 Mar 19 ▼
に任せます。



Dai MIKURUBE: 新しいWaveに移行するべきですがひとつだけ。専門家のアドバイスが必要という点にまず賛成 Mar 20 ▼
で、データを集める際には、誤差についてかなりシビアにならないかなと思います。データが集まってもしわ一大変だ、ということになると、「あ、実は誤差でしたー、てへ」では済まないで... 例えば教育用として精度保証の弱いセンサーも出回っているようです。



Tmiyamon: webglって全ブラウザ対応したんでしたっけ

Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: ChromeとFirefoxだったかと思います。モノによってはAndroidフォ Mar 19 ▼
ンでも閲覧できるようです。 <http://smarter-dev.net/?p=153>



Tatsuhiro Tsujikawa: Linuxのchrome unstableは未対応でした

Mar 19 ▼



Aimaimokomoko@googlewave.com: webgl採用するメリットが特になさそうですね....。3Dである必要が無 Mar 19 ▼
く、JavaScriptで描けるグラフであっても問題ないですし。ちょっと訂正します



Tomoe: こんなかんじだといいいのかなとおもいました。

Mar 19 ▼

[http://www.google.com/publicdata/explore?](http://www.google.com/publicdata/explore?ds=z1ebjgk2654c1_&ctype=m&met_c=unemployment_rate&fdim_c=seasonality:S&met_s=unemployed&fdim_s=seasonality:S&ifdim=st)

[ds=z1ebjgk2654c1_&ctype=m&met_c=unemployment_rate&fdim_c=seasonality:S&met_s=unemployed&fdim_s=seasonality:S&ifdim=st](http://www.google.com/publicdata/explore?ds=z1ebjgk2654c1_&ctype=m&met_c=unemployment_rate&fdim_c=seasonality:S&met_s=unemployed&fdim_s=seasonality:S&ifdim=st)

位置情報、測定値、測定時刻が主なデータとなるでしょうか。それを地図上にプロットします。上記例では時系列の値の推移をアニメでみれるみたいです(motion chart)



Aimaimokomoko@googlewave.com: これすごいですね。下のバーがタイムラインになっているんです Mar 19 ▼
ね。



Tomoe: ですよ。まさに、これが適合するかと思って調べてました。ただし、外からリアルタイム Mar 19 ▼
でデータを入力できるAPIがない(少なくとも公開されているドキュメント上)ようにみえてます。



Erdao: <http://www.google.com/publicdata/admin>

Mar 19 ▼

をよむとDSPLというスキーマでアップロード出来るようではあります。ただしあとから更新できないかもしれない。

Timeline+Mapは自分も作ってたときに意外と簡単なのは無かったので(Code組めば出来ますが)PublicDataExplorerのUIは分かりやすいですね

ただIntensityMapは非常に汚染しているかのようにもみえてしまうのでその辺注意が必要かと思います



Tomoe: 仰るとおりなんです。xmlやcsvをアップロードすればいいみたいなんです、動的に簡単に Mar 19 ▼
データを追加できるAPIがなさそうだなあーと思っていたところです。



Hisaki Ohara: この時系列のアニメは本当にいいですね。文科省のモニタリング状況の配布PDF Mar 19 ▼
<http://www.mext.go.jp/> からデータに自動的に落とし込めないでしょうかね。



Erdao: ちょっと人力でまとめてみた。PDFは意外にもコピペできたので。

Mar 20 ▼

モニタリングしている地域: <http://www.google.com/fusiontables/DataSource?dsrclid=593314>

モニタリング時系列データ: <http://www.google.com/fusiontables/DataSource?dsrclid=592987>

これをボランティアで更新してもらっていけるフォームとかあっても良いのかもしれない。クラウドソース。時系列のカラムが日時と時間でカラムが別になってしまってるのでまとめたほうがいいかもしれません。

(ローカルで作業してCSVに落とす部分でそうしていただけです。あまり深い意味はないです)

寝よう。。。



Shuhei.kagawa@googlewave.com: 文部科学省のデータで放射線量マップを作ってみました。
<http://shuheikagawa.com/radiation/> PDF から手動でデータを作って更新しています。

Mar 20 ▼



K.sugimoto1025@googlewave.com:

Mar 27 ▼



K.sugimoto1025@googlewave.com: 放射線量マップ拝見しました。非常に見易く、有意義に感じました。グラフの横軸に日時が記載されているとよりわかりやすいと思いました。ぜひ、文部科学省が取りまとめている、上水（蛇口水）の放射能水準調査結果のデータも加えていただけないでしょうか？ 開発はできないのですが、情報源とデータ項目の整理でしたら喜んでお手伝いさせていただきたいです。ご検討よろしくをお願いいたします。
http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1303956.htm



Snowdrop0082: 私も放射線量を地図上に表示したくて、iPhoneアプリを試みに作ったのですが、皆さんが仰るとおり、データ形式が統一されていないのが問題だと感じました。できればどこかアクセスに強いところに、収集したデータをためておいて、処理しやすい形式（JSON,XML等）でデータを提供できると良いですね。あと、収集するデータ自体の信頼性も考慮した方がいいかと。詳しくないですが、手作りガイガーカウンター、素人の計測等の正確さが気になります。

また、風評にも関わる放射線量の解釈ですが、エンドユーザ向けのサービスの機能として、色分け（数値が高いと赤くなる）等を行うと、システムに作り手の解釈が介入するのでよくないと思います。数値で表示するほうがまだ良いと思います。

個人的には、放射線データ、風向・風速、現在地情報を用いて放射能雲から逃げる待避ルートを検索する事ができるといいなと思いました。予測精度や検証方法、逃げるタイミング、自治体の指示との開き等の問題がありそうですが、日本気象協会さんが参加されているので、風のデータはなんとかなりそうですよね。



Shuhei.kagawa@googlewave.com: 避難に使うとなると、データの即時性も重要ですね。文科省のデータは数時間遅れで公表されているのがネックです。リアルタイムに更新されている信頼できるソースはありませんかね？



Teru.Shindo: 放射線にかんする情報については自民党から政府に対してリアルタイムでのせるよう要請が出ていますが、サーバ周りの関係なのかまだ実現出来ていないようです。
河野太郎公式サイト | Japan's government doesn't lie - <http://goo.gl/D83b4>



Saeki512000@googlewave.com: データを加工しないで、信頼できる研究機関の計測結果を地図上にプロットするだけでもいいように思います。↓のようなサイトを集めるだけ
<http://www.lebra.nihon-u.ac.jp/radiation/>
<http://www.kek.jp/quake/radmonitor/GeMonitor.html>



Snowdrop0082: 環境防災Nネットのデータを単純に地図表示するiPhoneアプリを作りました。iPhoneとiPad両対応です。スクリーンショット→<http://twitpic.com/4bjq4y> <http://twitpic.com/4bjqq9>

今回使用した環境防災Nネットのデータですが、<http://atmc.jp/rad/>のデータは結局、SPEEDIというシステムのデータです。これは<http://www.bousai.ne.jp/vis/bin/area.php>というPHPスクリプトに

?site=地域番号&func=getData&eo=UTF-8[&1970/01/01～のミリ秒]

という引数を与えれば、JSONによく似たデータを得ることができます。今回はこれを用い

て、<http://www.bousai.ne.jp/vis/index.php>にて閲覧可能なモニタリングデータを全て10分更新で取得&表示できます。ただ、現在は直接サーバからデータを取得しているので、アクセス負荷に耐えられません。やはり一度、負荷に強いサーバに保存したいです。

また、現状のSPEEDIのデータは全ての都道府県を網羅していないため、別サイトのデータも表示できるようにしたいと考えています。（上の方が提示してくれサイト等）

となると、やはり色々なアプリケーションにデータを供給するデータ収集と保存を行えるサーバが一般的なインターフェースで使えると嬉しいという所に落ち着きます。

PDFはPDFBoxでなんとかかなりそうということですので、信頼できるサーバから、スクリーニングと、PDF2テキスト変換で、データを収集し、データベースに蓄え、アプリケーションがJSONやXML形式でデータを取得できるシステムが必要ではないですか？



K.sugimoto1025@googlewave.com: ネットデータを図示されたスクリーンショット拝見しました。アプリのリリースを心待ちにしております。ご存知かもしれませんが、各地のモニタリングデータは、↓に一覧が掲載されているようです。に<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/monitor.html> いくつかのデータを一元化して開発者が安定的に使えるシステム、本当に必要ですね。



のの: また、勝手な提案です。

Mar 19 ▼

今回の震災の特徴として、各医療施設毎に物資の供給や状況が全く違うという問題が挙げられています。被災地の各病院でどのような薬品が足りないのか？という問題があるのか？逆にどのような機材は使えて、どのような診療はできるのか？という情報を共有検索するサイト・ツール。また、被災地から他地域の病院へ患者さんを搬送する際に、どの施設がどのような疾患の患者さんを受け入れることができるかを共有検索できるサイト・ツールというのは重要だと思います。



Hisayori Noda: 機能として

Mar 19 ▼

・施設名・住所・GPS位置を登録

- ・必要としている物品を登録
- ・他の方が各施設で必要としている物品を検索
- ・他の方がある物品を必要としている施設を検索

といった機能があれば良いのでしょうか？これだけの機能であれば、手元で作ることができると思います。作りますか？💬



のの: 早速の回答ありがとうございます。ちょっとブレーン・ストリーミングということであまり深く考えずに書きこんでしまいました。

Mar 19 ▼

実際に、こういったツールがあれば、絶対に便利ですし、今後も必要とされるツールになると思います。

しかし、今調べてみたら、医療従事者向けのサイトで動き出している掲示板があるようです。この掲示板で満足できるものなのか、不足なのかよく分からないので、ニーズがあるようであればまたちゃんと依頼したいと思います。ありがとうございます。



Hisayori Noda: 了解いたしました。

Mar 19 ▼



K.sugimoto1025@googlewave.com:

Mar 27 ▼



Shoji Baba:

Mar 19 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: Person Finderにpicasaから入力するのをやりましたが入力を支援するブラウザ拡張があると便利だなと思いました。

Mar 19 ▼



Ayse.oblivion@googlewave.com: こんなのがありました

Mar 21 ▼

Person Finderの入力を楽にするグリースモンキー用スクリプトです。

<http://sanriku.jp/foursquare.com/script/>



Shinichi Ogawa: Waveはちょっと面倒かも知れど、ModeratorについてはHack for Japanのホームページにガジェットとして埋め込んでも良いかもと思います。💬

Mar 19 ▼



Shinichi Ogawa: Waveが面倒と書いたのは、量も多いしごちゃごちゃしちゃうか？という意味です。ガジェットとして埋め込むのが面倒という意味ではありません。

Mar 19 ▼



Tmiyamon: waveはクライアントが・・・

Mar 19 ▼



Fumi Yamazaki: たしかに。埋め込みましょう>Moderator

Mar 19 ▼



Shinichi Ogawa: ありがとうございます、ホームに辿り着く人が多いでしょうから、投票やコメントも増えて良い
と思います。 Mar 19 ▼



Katsuhisa ABE/阿部 勝久: Person Finderの入力をしていて思ったのですが、Picasaに投稿されている写真の中に、すでにデジタル化されたデータを印刷したものを写真として投稿されている例がかなり見受けられます。
for example: https://picasaweb.google.com/116505943227607394790/2011_03_19_1650_name_list#5585673345616330482
なので、CSV ファイル、xlsファイル、pdfをアップロードさえすれば、自動的にPerson Finderに登録する Web アプリがあればいいかなと思います。 Mar 20 ▼



Hayato Ito: Person FinderはAPIが提供されていますので、おっしゃるようなWebアプリの作成は可能です。
<http://code.google.com/p/googlepersonfinder/wiki/DataAPI> Mar 19 ▼



Tunemage: Mar 19 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: だれかこれつけて作成された方おりますでしょうか？ Mar 19 ▼



Teru.Shindo: Person Finder確かにデジタルなデータを印刷したものが結構あります。手書きの写真になっている避難所についても、県などからPDFでデータが出ている例が多いので、それを加工するなりExcelデータをアップしてもらったりすることは可能です。あと、PDFなどの場合には前日分から追加された分について記述されているものもありますが、手書きだとそれがわかりません。前日以前のデータと重複しているものを再度入力している例が多いので、前日分のデータとの差分チェックが簡略化できるとよいですね。 Mar 19 ▼



Kamatamada: 私もPerson Finderの入力を手伝いましたが、「PDFを人力でテキスト化して登録する」という作業が本当に無駄だ。元のPDFから取り出せばいいのに」と思いました。是非とも欲しいですね。 Mar 19 ▼



Shinobu Izumi: XMLのフォーマットにExcel, csvから変換するのは難しくないのでは実現できそうですね。あとは、手書きのものから素早く入力できるインタフェースでしょうか。 Mar 19 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: 名前で検索して同一人物と判断できたらそれにレスを付けるという機能もいれることができたらなおよいですね。それもAPIあるのかな？ Mar 19 ▼



Tunemage: Mar 19 ▼



Katsuhisa ABE/阿部 勝久: 皆様、情報提供ありがとうございます。
次のwaveにまとめてみました。
[Hack For Japan \(hack4jp\) PersonFinder登録アプリ プレーンストーミング](#) Mar 20 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: 電車が間引き運転で死ぬほど朝夕混んでるというのですが混雑具合をリアルタイムに地図にプロットできれば緩和できるのではないかなとおもいました。常々車両の走行位置と込み具合をリアルタイム計測できれば便利だなとおもっていました。電車によっては今きた電車が激込みだけど次の電車はガラガラとあるんで。 Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com: 確かに便利そうですね。 Mar 19 ▼



近藤俊彦: それって駅探のAPIが使えるそうですね、
http://go.ekitan.com/info/menu_service.shtml Mar 19 ▼



近藤俊彦: Twitterで指定したフォーマットでつぶやいてもらってハッシュタグで拾うって出来ないでしょうか？ Mar 19 ▼



萩原崇之:

Mar 20 ▼

Hack For Japanが始まる前から近いものは作っていました。Twitterのつぶやきの流量などから混雑している各線各駅の状況を推定するものです



Manami suzuki: twitterでハッシュタグで拾うのであれば、<http://twitter.com/#!/jorudanlive> で路線ごとのハッシュタグがありますね。 Mar 20 ▼



Finitefield: GoogleがAndroidの機械翻訳をリリースされましたが、私は、先日、人手による翻訳のツールとして、メールで翻訳ボランティアに翻訳依頼し、メールで翻訳結果が帰ってくる仕組みを作りました。<http://www.finite-field.com/isometry-2-0-ja/volunteer> に詳細があります。 Mar 19 ▼

翻訳が有効なのは、情報とコミュニケーションかと思います。外国の方は、自国語で、あいさつや関心を示してもらっただけでも励みになると思います。

避難所ごとの決まりごとなどの情報も正確に伝えるためにも使えます。

当然、機械翻訳のほうがスピードは早いですが、精度が必要なこともあるかと思いますし、人手の翻訳も、皆の関心が高ければ、おそらく数分以内に翻訳してくださるのではないかと想像しています。💬



Teru.Shindo: 機械翻訳は日本語対応 Google Translate Crisis Response 版です Mar 19 ▼

ね。http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_translate.html

そういえばこれ、Androidマーケットへのリンクになっていないためでしょうか、「提供元不明のアプリを許可する」を許可しないとインストール出来ませんが、これってセキュリティ的にあまりよろしくない設定変更かと思うので、早めにAndroidマーケットにアップしてもらったほうがいいように思います。

人力翻訳に関していうと、メール以外にGoogle Talkなども連動できたらいいのではないかと思います。特に即時性が求められるような場合、メールだと携帯キャリア側の問題で届くまでに数十分の時間がかかることもあるので。



Finitefield: そうですね。 Mar 19 ▼

Google Talkですか。バックエンドはGAEを使っているの、XMPPに対応させればよいかとは思いますが。被災地では、何を使っているのでしょうか。Android持ってる人がそんなに多いのかなとも思ったりするのですが。Google Talkは、AndroidやiPhoneで動きますか？



Teru.Shindo: Google TalkについてはAndoroidには標準で「チャット」の名前で入ってます（名前はAndoroid1.6の場合）。 Mar 19 ▼



Finitefield: なるほど。まだ被災地ではメールの送受信に時間がかかるんですね。Google Talk対応してみます。 Mar 19 ▼



Teru.Shindo: 被災地ではありませんが、先日の地震直後から数日は電話通じず、Skypeの入ったau携帯とメッセージでやりとりをしていました。本当はSkypeとGoogle Talkもやり取りできると便利なんです。 Mar 19 ▼



Michelle2smnk@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Finitefield: 個人的には、避難所におられるかた同士の会話や連絡が必要かなと思います。つまり、まさに目の前にいる相手との会話です。Google Translate Crisis Responseは、音声入力や音声合成がされると推測しますが、Androidは、現在日本語に対応していたでしょうか？💬 Mar 19 ▼



Teru.Shindo: 日本語対応 Google Translate Crisis Response 版では音声入力、音声出力ともに日本語に対応しています（Android1.6に無理矢理入れて一応動きました。ただし1.6はサポート外なので一部機能は使えず）。SMS翻訳もあるので、携帯同士でやりとりをすることも可能です。 Mar 19 ▼



Finitefield: Androidの基本的なSDKには、入っていなかったと記憶していますが。Googleが専用に入れたのでしょうか？ Mar 19 ▼



Teru.Shindo: SDKのお話でしたか。すいません、そのあたりはできればGoogleのかたに回答をお願いしたいです。 Mar 19 ▼

何か、人手による翻訳を組み合わせると良いものがあるでしょうか。
もしAPIを作ったら、連携したいサービスはありますか？



Tatsuhiko Tsujikawa: これはサービスとは関係ないですが

Mar 19 ▼

<http://slashdot.jp/apple/11/03/18/0138224.shtml>

もう使わないipadとかを優先的に避難所に送って使ってもらうとそこからWEBにつながるし便利ではないな。充電の必要があるんですが、すでにコメントにもありますけど。



Stingraze@googlewave.com: 電池の売ってる場所や電源がある場所がわかるMapサービスとかどうでしょうね。

Mar 19 ▼



Akira Onishi: このサービス、いい面と悪い面があると思います。必要な人には役立ちますが、このところの首都圏の買い占め騒動が拡散するリスクがあるのかと思います。このあたり、人のモラルにもよりますね。

Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com: たしかに、売ってる場所がわかって、必要のない人が買占めに行ったら、どうしようもないですもんね。

Mar 19 ▼



Michelle2smnk@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Hobi: 震災時によく使う単語の外国語翻訳リストって、あったら便利かなと思います。私が逆の立場なら、表現したいが言えないってことが多々あるだろうと思うので。

Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com: 一まとめのPDFやHTMLであつたらすごく便利だと思いますよ！

Mar 19 ▼



Stingraze@googlewave.com:

Mar 19 ▼

書きかけのリストですが、英語 - ローマ字

Help me! - Tasu kete kuda sai!

I want to go here - Koko ni iki tai no desu.

Where is the restroom? - Toire wa doko desuka?

Here hurts - Koko ga itai desu

Where is the emergency shelter? - Hinan jyo wa doko desu ka?

Can you speak English? - Eigo wa sha bere masu ka?

I can't find (NAME). - (NAME) ga mitsukari masen.



Stingraze@googlewave.com: <http://mohawk.sakura.ne.jp/english-romaji>

Mar 19 ▼

にシンプルなサイトを作りました。いろいろな機種から見てもらいたいので、シンプルなHTMLサイトです。



Finitefield: では、タガログ語(フィリピン語)のリストを。

Mar 19 ▼

Tulungan mo ako! - Tasu kete kuda sai!

Gusto kong pumunta dito. - Koko ni iki tai no desu.

Saan ba ang CR? - Toire wa doko desuka?

Masakit dito. - Koko ga itai desu

Saan ba ang kanlungan? - Hinan jyo wa doko desu ka?

Puwede ka bang mag-Ingles? - Eigo wa sha bere masu ka?

Hindi ko nakita (NAME). - (NAME) ga mitsukari masen.



Hobi: 実際の外国人の方がどのレベルなのかというのが気になります。

Mar 19 ▼



Finitefield: 東京在住の外国人は、英語だけでも生活できたりするので、ほとんど日本語を話せない方も多い

Mar 19 ▼

ですが、地方に行くと、多くの方はあるていど日本語を話せます。ただ、日本語を聞き取って、正確に理解できるかというと、ペラペラと思える人でも、意外と正確な理解でないことが多々あります。



Stingraze@googlewave.com: ただ、最悪の場合、これから地方だけではない場合がありますから
ね。;; Mar 19 ▼



Hobi: ある程度はなせるケースが多そうですね。 Mar 19 ▼



Shinobu Izumi: Google SpreadSheetなどに纏めておいて、様々な形で編集や利用ができると有益だと思
います。 Mar 19 ▼



Finitefield: こんな感じでしょうか。
<https://spreadsheets.google.com/ccc?key=0AtK5QLIYWYUIdHo0ekptbE42Vmo3NVI0REVVcmxnUUE&hl=en> Mar 19 ▼



Shinobu Izumi: まさしく、そんな感じです！ Mar 19 ▼



Hobi: 都道府県別外国人数を貼っておきます。 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001065021> Mar 19 ▼



Eriko Iijima: 個人のかたで日本のニュースに出てくるボキャブラリーのリストを作っています。少しタイムラグは
ありますが、リアルタイムやタイムラインを併用し、急にウェブ上に突出する言葉を集めてピンポイントで翻訳する必要もある
のではないのでしょうか。「燃料棒」「計画停電」「帰宅難民」、どれも普段の生活では使用しない言葉ばかりでしかも、3月11日
以前では日本人ですら思いつかない言葉ばかりです。 <http://www.japannewbie.com/2011/03/13/japanese-news-earthquake-vocabulary/> Mar 19 ▼



Hobi: まさにこんなものを想像していました。
これに各言語版をつくり、手入れしやすい形にしたいです。
もうひとつはおっしゃってるように急に突出した言い回し・単語を自動で集めてくれるツールがあればいいなということでしょう
か。各社のニュース記事をDLし、yahooの形態素解析APIで解析してやれば個人でも難しくなさそうです。 Mar 19 ▼



K S: 単語だけなら、ウィキペディアの言語間リンク（左側のサイドバーに、それぞれの言語で言語名のリンクがあ
ります）を使うと、対応する言葉にジャンプします。 Mar 19 ▼



Hobi: それも有効ですね。ただたとえば「核分裂」だと日本語のページはあっても他の言語のページが未作成であ
るなど、ちょっと複雑になるだけでなかったりするので、このへんは補完したいですね。 Mar 19 ▼



K S: 核分裂は生物のほうの用語との曖昧さ回避ページというやつです。そこからリンクがある「核分裂反応」へい
けば、けっこうな数の言語があります。 Mar 19 ▼



Hobi: 失礼しました。よくみたら、そうですね。お恥ずかしいです。 Mar 19 ▼



K S: 日本語版では少ないと思ったら、いったん英語版に行くと、より多くのリンクが得られることもあります。 Mar 19 ▼



Hobi: そうですね。ただ辞書を引けば解決する問題でもいちいち辞書を引かないで済むのは個人的にはけっこう大
きいです。まあでもwikipediaで解決ですね。 Mar 19 ▼



K S: 科学の専門用語まで収めた、それも日本語から引ける辞書がある言語って、それほど多くはないと思うん
です。 Mar 19 ▼



Hobi: ちょっと意味をつかみかねます。。。 Mar 20 ▼



K S: あ、紙の辞書の話です。核分裂とか被曝とかセシウムの同位体とか、そういうのを、日本語から英語やドイツ
語にはできるだろうけど、ポルトガル語だと既に難しい。 Mar 20 ▼



Hobi: 近いうちに、ニュース記事をDLしYahooのAPIで単語抽出し、wikipediaで翻訳したものをhtmlなどにして配
布するサイトを作ります。 Mar 20 ▼



Tatsuya Miyoshi: 今回の震災は海外でも関心が高く、寄付やボランティア志願者も増えてきていると聞きます。 Mar 19 ▼
今回の試みは是非英語版も作っていただき、海外からもアイデア募集、もしくは開発者だけでも募集したらかなり集まるのではないかと思います。

ただし、それにはまずは日本の現状を知ってもらう必要があると思います。
日本の生の声を紹介する英語サイトを作るのはいかがでしょうか？もう既にあるのでしょうか？



Tatsuhiro Tsujikawa: もともとPerson Finderも英語版だったようなので、今回開発するアプリも全世界で共有できると良いですね。 Mar 19 ▼



Tatsuya Miyoshi: 海外展開は是非考えなければいけないと思います。 Mar 19 ▼
逆にPerson Finder以外にも海外で使われていて日本へ適用できそうなサービスもあるのではないかと思います。
どなたかで存じないでしょうか？



Hisaki Ohara: 同感です。特に放射能への風評被害が日本に対して発生する可能性があるので、様々な基礎データを提供する必要があります。文科省や東電の仕事かもしれませんが。。 Mar 19 ▼



Tatsuya Miyoshi: 海外の人達に理解してもらうことは重要だと思います。 Mar 19 ▼
現在、日本に滞在している外国人の方が、不安を感じて帰国している話もよく耳にします。
西日本にいても不安で帰国された方もいるそうです。日本へ入国予定の方が自粛する話も聞きます。
理解が遅れるほど悪い風評は広まると思います。生の声を伝えるサイトは重要だと思います。



Finitefield: 生の声とは具体的に誰の声なのでしょう？ Mar 19 ▼



Tatsuya Miyoshi: 他のトピックでも話が出ましたが、国内でもtwitterやメールでデマが広がりました。 Mar 19 ▼
具体的に考えると、生の声というより、嘘の噂を否定するようなサイトが良いと思います。
具体的にどのような情報があるとよいという意見ありませんでしょうか？



Azrael.android@googlewave.com: Mar 19 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: 震災前の建物の位置や形状はGoogleearthのように3Dモデリングで表現できるのでそれをARで携帯から見られるようにすれば、救助や復興で役にたつかな？ Mar 19 ▼



Shinobu Izumi: デマに限らないのですが、Twitterの情報発信元を追跡できるようなサービスはできないのでしょうか？特に非公式RTが追いかけるようなものがあると便利かなと思います。 Mar 19 ▼



Atusi nakamura: <http://ebilog2009.seesaa.net/article/191045647.html> Mar 19 ▼
リアルタイム検索を使うと、発生タイミングと起点ばいものが取得できるばいですね。
グラフの立ち上がりのところをうまく取得出来れば追いかけるかと思います。



Shinobu Izumi: よく考えると、検索結果の一番古い物がかなり高確率でオリジナルなのかもしれないですね。一部変更された非公式RTなどからでもオリジナルが追える物は難易度が上がるかな？ Mar 19 ▼



Tatsuhiro Tsujikawa: 逆の視点で、非公式RTを検索結果から除外するというのもありではないかと考えています。 Retweetを使え、ということで。検索結果で延々と同じ非公式RTを眺めないといけなのは時間の無駄です。 Mar 19 ▼



Shinobu Izumi: 非公式RTを追いかけると書いたのですが、誤解があるといけませんが、追いかけるのはあくまで Mar 19 ▼



オリジナルを発見するために機械的に行うという意味です。私も同じRTをなんども読むのには辟易しました。今回大分公式RTの利点がTwitter上で広まったように思いますが、まだまだ非公式RTも多いので。デマ拡散のためにわざわざやるユーザもいるかも？



Hiroki kumazaki: この混乱の中で率先してデマを飛ばしている新聞社や政治家や経済評論家やジャーナリストなど Mar 19 ▼
も居ます。

デマそのものに対症療法で対処するのではなくて「この新聞社は信用できない。なぜなら〇〇というデマを流していたから」などの形で根本的な対策を行うことはできないでしょうか？



Masashi Sato: ツイートが拡散してその後デマと判別される時には、一度多くのRTが生成されて、次に削除されて Mar 21 ▼
ゆくはずなので、RTされた数とRTが削除された数を統計するとデマを飛ばしてしまうユーザを判断する手がかりになると考えています。

今以下のような「言葉」からツイートを抽出して、それにはてブのタグと公式RT数をくっつけて表示するアプリを試作していますが、この公式RT数が上記のアイデアでまとめられて、かつユーザをIDで検索できるようにするとゴールに近そうです。どう思われるでしょうか。

サンプルは「ピエール瀧」で検索したものです。

※公式RT数は私のアカウントで取りにいつているので、沢山アクセスされると動かなくなります。

<http://retweeters.appspot.com/%E3%83%94%E3%82%A8%E3%83%BC%E3%83%AB%E7%80%A7>

本日もちょっと時間が無いためにハッカソン参加まではできないのですが、地道に続けたいので、アイデアやご意見があったら是非いただきたいと思っています。ツイートの内容が混乱するようなことを発生させない方法を提供するのが技術の役割だと私は考えています。



Atusi nakamura: [アイデア] 被災地のニーズがそもそも不明だとおもうので、現地のリクエストをシンプルに収集して Mar 19 ▼
ざっくり分類して検索可能に表示するサービス



Tomo.takahata@googlewave.com: ボランティアのひとのほうがアクセスしやすいと思うので、ボランティアさ Mar 19 ▼
んのネットワークにアプローチできるといいかも



Takuya: 現時点で被災地の人が本当に必要なものを拾うのに最適な方法は何なのでしょうね？ Mar 19 ▼



Atusi nakamura: 一次情報を取ることを基本としておく（デマ避け）だとすると、ガラケーからの勝手サイトが大 Mar 19 ▼
きなことかと思います。

こういうことも実際現地の方々に聞いてみたい。



Seiji Hayakawa: 被災地域への「営業店止め」の宅配便配送が再開されつつあります。誰／どこに荷物が届けられたか／ Mar 19 ▼
られなかったかをDBにストックしてもらって、被災情報のアンテナとしても機能してもらえるようなシステムは作れないでしょう

か。



Seiji Hayakawa: 例えばドライバーさんにスマホを持ってもらって、簡単なアプリで配達可否状況、安否情報な Mar 19 ▼
どを登録してもらうというよう。



Stingraze@googlewave.com: GPSで現在位置を取得して、ある一定の半径で地震があると、自分が登録していた人の Mar 19 ▼
メールアドレスに、SMSや普通のメールでアラートが行くようなサービス。ただ、延滞が気になりますが。スマートフォンなどではありがたいと思います。



Tatsuhiro Tsujikawa: 避難場所の方向をレースゲームみたいに矢印でARで表示すると土地にふなれな海外の人には有用 Mar 19 ▼
かなと。テレビで中国の研修生の人が避難場所がわからずと言っていたので。これはgooglemapのナビゲーションでできそうな気がします。



Hiroki kumazaki: これから数年間にわたってボランティア活動が行われます。mixiなどの災害対策コミュニティなどでも Mar 19 ▼
有志を募ってボランティアなどを開催する流れになるでしょうけれど活動単位で情報を集約する必要があります。具体的にはATNDの形で参加者一覧を作って実際にその場に現れた人・ドタキャンした人・無断欠席した人などの情報が集約されればボランティアの現場での混乱を防げるのではないかと思います。ATNDをベースにそこに何があるとボランティアする側にとって便利かを考えませんか。



Hiroki kumazaki: 準備不足なボランティアが現場入りすることは避けたいですし、彼らは情報強者というわけでも ないでITを用いたバックアップが欲しいです。 Mar 19 ▼

- 1、ボランティアが欲しい、という情報をマッチングサイトなどから獲得する
- 2、誰かがその人と電話などで密に連携をとって日時・場所・人数・必要な装備などの情報をまとめる
- 3、「〇月〇日に〇〇県の〇〇町での復興活動」の単位でATNDのようにイベントを立ち上げる
- 4、mixi, twitterなどの上で参加者を募集する（別サービスのアカウントが乗り入れられる必要あり
- 5、ボランティアに実際に参加した人に「ありがとう」などとフィードバックが得られる掲示板などで交流
- 6、次のボランティアにも参加しよう、という気になる

僕個人としては、いくら装備を整えたとは言え素人が災害地に入る事がよいとは思いませんが
現時点でmixiコミュニティ上での盛り上がり方を見るに、有効利用する仕組みこそが必要ではないかと考えます。



Tomo.takahata@googlewave.com: ボランティアの方の食事や寝る場所などの確保も必要になりますよね Mar 19 ▼



Hiroki kumazaki: そうですね、ATNDを立てるときに
日時・場所・人数・必要な装備・寝る場所の有無・必要な食品の量などなど
どういう情報をあらかじめ現地の人と詰めておく必要があるのかをテンプレート化するだけでも価値があると思います。
寝る場所が必要な事が分かっているれば、テントを持ち込む事ができます。何人寝れるテントがいくつ持ち込めるのかを参加登録と同時に情報共有できれば、無駄の無いテント展開ができそうです。



Yukio Andoh: すまん、時間が無いので、長文貼付ける。いろいろアイデアがでてきていますが、すぐに欲しいもの、恒
久的に数年間使いつづけるもの。被災地で欲しいサービス。被災地以外で有用なサービス、様々なサービス。リソースを集中させる
必要あり。かつていいものよりも、シンプルで信頼できて、動きつづけるもの。 Mar 19 ▼

通常のハッカソンは「作りたいもの」を作る雰囲気ですが、
今回はちょっと意味合いが違って、あまり目立たないとしても
確実に「役立つもの」を素早く作ることが使命では無いかと考えます。

idea list - Hack for Japan

- 1) 今あるWebサービス、Web情報の補完サービス
 - 2) 今あるサービスの携帯電話対応（含ガラケー/Android/iPhone）
 - 3) 各種マッチングサービス
 - 4) 寄付プラットフォーム
 - 5) 今はまだ無い、画期的な援助サービス
 - 6) 複数の拡散している似たようなサービス／データを統合する仕組み
 - 7) 今ある有益なサービスの多言語対応
-
- 1□ 既存の Google Person Finder などのサービスを補完するもの
例えば、Picasaに登録された画像を Person Finder に登録する作業を分担する中で、
未着手の画像を検索する外部サービスはとても有用なので。そういう感じのもの。
 - 2□ 既存の Google 他、被災者向けサービスの携帯電話対応
スマートフォン、携帯電話（ガラケー）対応で無いものを、
見られるようにする、利用できるようにする仕組みや、
専用の Android/iPhone アプリ
（この分野に関しては、現在Appleの審査もすごく早い）
 - 3□ ボランティアのマッチング / 支援物資のマッチング
人手を提供できる人と、人手が欲しい人のスキルマッチング
現地ボランティアは手ぶらの素人が参加しても迷惑をかけるだけなので、
様々な条件あり。都内で手伝えるボランティアもある。
支援物資も、無駄にならないよう、必要物資の種類や、
新品であること箱に明記すべきラベルなど、様々な条件提示が重要。
 - 4□ Google AdSense/AdWords のような募金プラットフォーム
義援金／寄付／どこの誰宛に
全部が赤十字に集まるのだけでなく、小さなNPO団体にも行き渡ってほしい。

手数料無しでどこの何に使われるのか、トラッキングできるとベスト。

- 5□ 被災者向けに必要なサービス／被災地外の人向けのサービス
それぞれ、今、まだ機能していないサービス
今あるサービスと同じようなサービスを作って下手に分散しても仕方ない。
また、浅い考えで、ガソリン入手先の地図などを作ってしまい、
渋滞を巻き起こすのも得策ではない
- 6□ 複数の拡散している似たようなサービス／データを統合する仕組み
NHKとPerson Finderの連携はすばらしい。
情報が統合されることによる価値と安心感が提供できる。
- 7□ 今ある有益なサービスの多言語対応
Google Translate を通す作戦と、ボランティア翻訳作戦がある。
どちらにしろ翻訳が完全ではないリスクはある。
外国語だけではなく、音声や手話による情報提供も重要。
これは日本メンバーがあまり手をかけず、
環境を用意し、世界のバイリンガルに助けてもらうのが得策かもしれない。

まだまだあるとは思いますが、
なんでもかんでもではなく、
限られたリソースを集中させて、
確実に素早く成果をあげることができれば！

#prayforjapan



Finitefield: 7の今ある有益なサービスの多言語対応では、私が作った翻訳支援ツールが使えます。被災地からメー Mar 19 ▼
ルでの翻訳依頼ができるようにしたというのを上に書いたのですが、これはすでに翻訳者が翻訳するために使う、現に動いて
いるサービスです。翻訳元データは、テキスト、Word, Excel, PowerPoint, XLIFFに対応しています。翻訳文書をパブリックにすれ
ば、だれでも翻訳可能で、翻訳文書の名前に、「大震災ボランティア」と書いておけば、ボランティアを募集していることを伝えら
れます。
ツールはフリーで、以下のChrome Web Storeからインストールできます。
<https://chrome.google.com/webstore/detail/ofpplbnbgolaannppkgaojbegonjhead>

GAEがバックエンドなので、ソースコードを提供することも考えます。



Kamatamadai: 3の『ボランティアのマッチング』のサービスには、ガ島通信 (<http://d.hatena.ne.jp/gatonews/>) の Mar 19 ▼
藤代裕之さんが中心となって作成している 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）「災害ボランティア情報」まとめサイト
<http://www45.atwiki.jp/volunteermatome/pages/45.html> などがありますね。twitter (@volunteermatome) 上で、ボランティアの募集
状況がつぶやかれています



Hisaki Ohara: このリストは大変分かりやすいと思います。どなたかが指摘されていましたが、今あるサービスや Mar 19 ▼
進行中の開発プロジェクトのリスト化がそろそろ必要ですね。



Seiji Hayakawa: ですね。加えて、そこから重複するものを統合し、また世の中に広く認知させることも必要かと Mar 19 ▼
思います。



Yuichiro Mori: Mar 20 ▼



Yukio Andoh: 災害時サービスでUI+UXデザイナーができること。 [http://www.slideshare.net/yukio.andoh/crisis-response-](http://www.slideshare.net/yukio.andoh/crisis-response-ui-20110318-7301165) Mar 19 ▼
[ui-20110318-7301165](http://www.slideshare.net/yukio.andoh/crisis-response-ui-20110318-7301165)



Yukio Andoh: あと、デジタルなサービスに頼りすぎて、誰かがケガしたり、混乱を招いたりしないよう、深く考える必 Mar 19 ▼
要があると思っています。こんなサービスが欲しいだろうと、押し付けるのではなく。



Kazuyuki Mori: 情報提供者のネットワークが不安定な状態で、どこどこで何が足りないとかの情報をTwitterなどでグロー Mar 19 ▼
バルに共有すると、

- ・情報の真偽
- ・解決・未解決
- ・情報の古さ

など情報の正確性に問題がでたりするので、よくRTされてるつぶやきをTracみたいに管理できるサービスはいかがでしょうか。

Tweetの流れ、関連ツイート、タグづけ、**Good/Bad**投票によるタグやチケットの状態やツイートの上下をきめることで、ただの噂に対して集合知を発揮させることが出来るんじゃないかと。

ただ流れてきた噂に非公式RTで「デマです」と付けるより、そのサービスのURLをつければ、解決した問題が流れ続けることもないし、緊急性の高い情報が見逃されるというような問題も解決できるんじゃないかと！



Katsuaki TANAKA: 同じく、情報が整理されて、その構造が作られていくことが大切だと思います。

Mar 19 ▼

対象がソフトウェアやプロジェクトのようにはっきりしたものではないだけに、それを反映した情報の構造を作ることは大変そうですが、できれば効果は大きいのではないかと。

- どのように対象ツイート（情報）を選定するか
- どの条件をもとに解決したと見なすか
- **Twitter** 内部でできるようにするか、外の **Web** サイトに出すか
- ステータスの管理を集散的にどのようにおこなうか

おおざっぱに、**Twitter** 内部で **bot** が見て、選定したものに固有のハッシュタグを振ってリプライあるいはリツイート、元の発信者が **OK** したところ、あるいはある程度時間がたったところで解決あるいは優先度低とみなす、といったものを想像してみました。



Kazuyuki Mori: どのように対象ツイートを選定するのかは考えてなかったです。

Mar 20 ▼

ステータス管理を**Good/Bad**投票は難しいかもしれないですね。タグさえあればステータス管理をしなくてもいいかもしれません。

やりたかったのは、**Chrome**や**Firefox**のアドオンで、**Twitter**サイト上のRTに対して皆がつけたタグを表示することで、メタ情報をツイートにひもづけることと、メタ情報を非公式RTで付与しないで誰でも見れるサービスとして独立させることで、ツイートの流れと情報を整理し、近い話題や近い場所の関連ツイートを表示してまとめることでした。

システムのステータスをはっきりさせる必要はないので、はてなブックマークのタグをRTに表示することで解決できるかもしれません。



Masashi Sato: ひょっとして、私が試作している以下のようなシステムはお考えの一部に近いもので Mar 21 ▼

すか？今水道橋博士の発言がはてブに出ているので、彼の発言にははてブから抽出したタグ（みずいろ背景の言葉）がくっついています。

※試作なので沢山アクセスがあると公式RTが取得できなくなります。

<http://retweeters.appspot.com/%E3%83%94%E3%82%A8%E3%83%BC%E3%83%AB%E7%80%A7>

これをブックマークレット化したり、アドオン化したりするようなイメージかなと思いました。ただ、非公式RTへの対応としては弱いものかもしれないので、それはまた別途考える必要があります。

Good、**Bad**の一つの尺度として、公式RTされてそれが取り消された数を抽出するのはどうだろうかと考えています。直接的に「イイネ！」のように投票する方式は、**twitter**の利用をサードパーティアプリから行っている人の数が多いので、現実的な方法では無いかもしれないなあと考えています。

本日ハッカソン参加をしてコーディングする時間は無いのですが、アイデア交換させていただこうと思い、書き込みました。



Kazuyuki Mori:

Mar 20 ▼



Shigenori kamata: **Tweet**やプロフィールの位置情報で評価すると、被災地からの距離である程度はデマ性が判断できそうな気がしますね。

Mar 20 ▼



Kosei Kitahara: 私からも 1 つ御提案

Mar 19 ▼

この次期は、入学式とか卒業式とかイベントごとが多いですね。

Twitter や **ust** を使った卒業式がなされたりしてますが、ごく一部だと思います。

多くの学生さんたちに思い出となるような式をネット上で支援してあげたいです。

卒業アルバムもないでしょうし・・・。



BeMarble: もし被災地で窃盗などの犯罪が増えているようだったらそれを抑制するようなものが作れたらいいと思います。

Mar 19 ▼



Masakazu Muraoka: iPhone用 地震対策音声読み上げを運用中です。 <http://goo.gl/rG5rH>

Mar 19 ▼

識字障害や弱視の方々への情報提供という目的で作成しましたが、避難時に文字を読む手間がないので有用、音声なら周囲の人に情報を伝えやすいというご意見もいただいています。

追加する情報や拡張のアイデアをいただければうれしいです。

もちろん他にもなにか手伝ってくれる方も募集中。

読み上げ音声は、HTML5 Audio要素でmp3を再生しています。

現在Android webkitで動かないのが残念。なんか方法あったら教えて欲しいです。



Misa Kondo: 先ほどこちらのアイディアソンの開催を知り、参加しました。

Mar 19 ▼

Waveを使うのは初めてで、これまでのアイディアをおいきていないのですが、失礼させていただきます。

位置情報ベースのQ & Aサービスで、日本語／英語対応、ガラケー対応となっているPinQAというものがあります。

情報の共有のために紹介させていただきます。

<http://pinqa.com/>



萩原崇之: 公的な情報をまとめるページを少し前にリリースしています。今の所は現在の情報を表示しているだけなので、クロージャーまわしてもうちちょっと詳しい情報を取ろうかな？と考えているところです

Mar 19 ▼

<http://om-logs.appspot.com/>



Hiroki kumazaki: スマートフォン前提で構わないので、登録した複数の人を一定時間GPSで追えるアプリケーションの実装は可能でしょうか？

Mar 19 ▼

方向や移動の動向を追いかければ避難所での心細さが解消されるんじゃないでしょうか。

赤い糸のような形で方向を表示できれば出会うためにも便利です。



Misa Kondo: Latitudeで参加しているメンバの位置を共有できませんでしたっけ？ちょっと今確認しています。

Mar 19 ▼



Hayato Ito: ですね。Google Latitudeが利用できます。 http://www.google.com/intl/ja_jp/latitude/intro.html

Mar 19 ▼



Michelle2smnk@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Misa Kondo: Googleバズに登録しているorLatitudeでのメンバ登録でレイヤをつけ、見ることが出来ます。Androidではデフォルトでインストールされているはずですので、ぜひ。

Mar 19 ▼



Hiroki kumazaki: 災害現場で実際に使ってみてどう感じたかの声が聞いてみたいところです。

Mar 19 ▼



Hiroki kumazaki: おお。さすがGoogleですね...！ありがとうございます。

Mar 19 ▼



Gtk2kritto@googlewave.com: iPhoneアプリのやつはめちゃくちゃ更新が遅いんだよね

Mar 19 ▼



Gtk2kritto@googlewave.com: スマフォアプリ開発したとしてネックなのは申請にかかる時間だよなあ。Androidは申請が必要ないと聞いている。iPhoneは数日かかるとも。

Mar 19 ▼



Misa Kondo: はい。Androidは野良アプリの作成が可能です。Aタグはれば、ダウンロードできます。

Mar 19 ▼



Gtk2kritto@googlewave.com: そうなんだ。

Mar 19 ▼



Misa Kondo: DesireではOKでした。後、1.6系の機種名まではわからないのですが、そちらの端末でも野良アプリ落とせたようです。今回のこととは直接的な関係ないですが、野良アプリの公開方法なら知っていますので、興味ある方はき

Mar 19 ▼

いてください。 <http://libdroidbot.herokuapp.com/>



Misa Kondo: 上記のページはHerokuというクラウドサービスのページにAタグのせただけです。それで実機で落とせて、動きました。 Mar 19 ▼



Gtk2kritto@googlewave.com: ほうほう。ありがとうございます。（って言いたいところですが、実はAndroidとかのスマホアプリ開発経験ありません。）いかんせん、Windowsアプリ専門で食ってますもんで。Herokuって、RubyOnRailsでしか聞いたことないですが、そのほかのアプリもホストできるのですか？ Mar 19 ▼



Misa Kondo: HerokuはRubyOnRailsで動いています。AndroidのアプリはHerokuサーバ上にAPKファイルといわれ、アプリファイルをおいておけば、ホストとして使えます。実際は落とすだけです。 Mar 19 ▼



Gtk2kritto@googlewave.com: なるほど、ありがとうございます。 Mar 19 ▼



Misa Kondo: いえ、余談になってしまい、失礼しました。wave力が不足です。 Mar 19 ▼



Tomo.takahata@googlewave.com: 郵便局って、いろいろな地域にあって、地元の人の支えになっている気がするのですが、郵便局と連携することってできないですかね？あとクロネコヤマトさんとか、佐川急便さんとか、地元の人とつながりのあるところと情報がつながれるとよいのかなと・・・ Mar 19 ▼



Dai MIKURUBE: ご参考までですが <https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+ljF-4qcwA> こちらでも同様の意見を
おみかけしました。ぜひ話してみてください :) Mar 20 ▼



Hiroki kumazaki: 阪神大震災の時は学校での授業の再開が大きく遅れたようです。教科書も流されてしまい、教材などもなくなった状態で教育を再開させるのは難しかったんだろうと思います。
現在のところ、OLPCのように大企業が小中学生にノートPCを配布する動きは無いのでしょうか？
もしあるのであれば、オンラインで授業を行う画期的な場になれると思います。 Mar 19 ▼



A b: 何が欲しいということを書いて追跡できるBTSみたいなものがあるといいと思いました。 Mar 19 ▼

テレビなどで～がほしいなどという意見もありますが、実際そのあと物資がちゃんと届いたのかは謎のままになっているかと思います。必要な物資のトラッキングができるBTSのようなものがあればいいと思いました。
webから手動で、またはtwitterのハッシュタグから拾ってBTSに自動入力。GPS情報などの情報もあれば利用。webから入力する場合いたづら防止のためニュースソースなどURLも欲しいかも。
届いたら、webからクローズしたり、twitterのハッシュタグ付きで自動closeしてもいいかもしれません。

一覧化することによって、何が何処に今足りていないかを一覧で見ることができますし、また今後同様の災害が発生した場合にも、利用できますし、蓄積されたデータは過去の事例として大いに生かせると思います。



Arinobu FUKUHARA: 以下のリンク先でも似たような話がされていますね。 Mar 19 ▼
[Hack For Japan \(hack4jp\)](#) ブレーン・ストーリーミング Wave

BTS というアプローチは良いですね。きちんと支援が完了したのか、ということを追跡することは非常に重要だと思います。



Sho-ji N: 電源・IP網が繋がった後になってしまいますが、避難所ごとに公式のTwitterアカウントを作成し情報発信・共有を行うのはどうでしょうか。 Mar 19 ▼

ITが得意なボランティアが避難所にいれば担当してもらえらると思います。
役場の人・避難所のリーダー・ボランティア・(可能であれば被災者も)間の情報共有に有用です。内部の人だけでなく外部の人にもその避難所の現状が伝えられます。
さらに避難所の情報をまとめる新しいサービスに繋がると思います。



Tsuyoshi Seino: 避難所にWebカメラって付けられないものですかね。 Mar 19 ▼
避難所のニーズが解らないのも、細かい安否が取れないのも、避難所から情報を発信できないから、というのが主原因になっている気がします。
1分くらいの動画を避難所から発信出来てタグ分けできると随分状況が変わるような気がするのですが。



Hiroki kumazaki: テレビ局でさえプライバシーに配慮してうんぬんとなっていますし、通信回線を圧迫しそうで怖
いです。現地での通信回線ってどれぐらい余裕があるんでしょうか。
ですが、避難所から細かい情報でさえ発信してもらいたいというのは確実なニーズだと思います。カメラつけっぱなしで可能な限り
低い敷居で情報を発信してもらえればきめ細かい対応ができそうですね。



BeMarble: 現地にビデオレター用PCのようなものを設置してみてもいいのでは？ それをどこかのサイトで公開してみ
るとか。



Tsuyoshi Seino: 避難所まで避難出来た場合、1分1秒を争うことはないような気がするんです。
だからLive Streamingではなく、細かい動画をサーバーに溜めるような方式にすれば
通信もさほど圧迫せずに済むような気がします。



Tsuyoshi Seino: もっと通信を気にした場合写真（スナップショット）+音声1分、とか。



Arinobu FUKUHARA: 動画にしるなんにしる、避難所から情報を発信する方法は何かして確保したいですね。



Tmiyamon: 同意ですねー。避難所からの情報が集まれば、それをもとにより包括的な行動に出られます。



Gtk2kritto@googlewave.com: いまは、一般回線はほぼ全滅ではないでしょうか。ただ、「きずな」が被災地で支
援されるとのことで、回線が提供されれば少しはIP網は回復するでしょう。（限定的ですが）



Tsuyoshi Seino: イリジウム衛星電話を使ってみるとかどうですか
ね。http://plusd.itmedia.co.jp/pcupdate/articles/0508/15/news045_3.html



Gtk2kritto@googlewave.com: ああ、たしか、イリジウム電話は会社が被災地に提供するというニュースを見た覚え
があります。
会社ではなく、国際電気通信連合でした。
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110317-00000060-impress-inet>



Sho-ji N: 避難所の生活は長期になると思うのでIP網が復活してからでも十分に役立ちそうですね



Tmiyamon: 電気の面でも厳しそう



Tsuyoshi Seino: サイト側が整えばスマホとかカメラ付きのタブレットとかでもいけそうな気がするんですが、孫さん
とかのってこないですかね。



Hirotomo.oi@googlewave.com: 被災地の方が電話で【〇〇が困ってます】って録音していただいて、それを延々と流すラ
ジオのようなことってできないですかね？



Yuki Anzai: 災害時の支援ももちろん大切ですが、復興時の支援も大切だと思います。津波の映像にも沢山の畑が映って
いましたが、恥ずかしながら私はその畑でどんな野菜が育てられていたのか知りません。

被災地の復興には何年もかかるはずですが。被災地の方々が普通の生活を自立して行えるようになるために、通常の経済活動としてなにがで
きるのか、もあると思います。
東北地方の国産野菜を食べよう、というだけでも支援に繋がると思います。



Sho-ji N: その野菜を買ったり観光地に旅行に行ったりすることが現地の自立に繋がり、義援金を送る次のス
テップになるんですね。
復興の経過がわかってわれわれがそれを知ることができて購入・利用することが長期的にみると重要。



Yuki Anzai: 〇〇店営業再開しました！マップとか、メッセージとかをまとめて見れたりするといいですね。その
お店とか農家がweb通販してたりしたら、遠くからでも何かできますし。
どこのお店が営業再開したかわかると地元の人も助かると思います。



Tsuyoshi Seino: 福島は状況次第だと思います。日本は食の安全にうるさい国なので「東北で作られたもの」とい
うだけで風評が立つ恐れがあるので
そこをどう改善するかがカギだと思います。 Mar 19 ▼



Chuki082@googlewave.com: とても素晴らしい動きだと思うのですが、作成するのは恒常的なサービスでしょうか、そ
れとも緊急的なサービスでしょうか。 Mar 19 ▼

個人的には、水とトイレがすごく困ったと聞いているため、供給情報は仮設トイレ情報などをツイッターレベルで情報収集できるようなシステムがあれば、短期的に非常に助かるのではないかと存じます。



Tsuyoshi Seino: トイレの共有サービス、というのがありますね。これにどれだけ仮設トイレが入っているんで
しょう。。 Mar 19 ▼



Chuki082@googlewave.com: なるほど、これの他キャリア版があると便利そうですね。 Mar 19 ▼

<http://news.nicovideo.jp/watch/nw42357>



Takuya: どちらでも良いかと思うのですが、恒常的なサービスの場合には今回の事態にきちんと合う機能をアド
ホックでも持てたほうが良いと思いますし、緊急的なサービスの場合はほかの類似サービスにすぐに対応出来る柔軟性を持て
たほうが良いと思います。そう考えると、アプローチが違うだけで、出来るものは同じように柔軟度が高いスケールするものに結局
は発展していくことになるのではないのでしょうか。一般論ですみません。 Mar 20 ▼



西本誠: 風評被害で作物が売れない事態が既に発生し始めたようなので、農家の方が直販でものを売りやすいように、
ショッピングサイトを手軽に構築できるようにするなどはいかがでしょうか。もしくはフラッシュマーケティング的なサイトのほう
が賞味期限的にいいのかもしれない。 Mar 19 ▼



西本誠: 新しく作らなくてもグルーポンがやってくれればいいのか。どこかが農家に掛け合って初めてくれれば、
買い手はすぐ見つかると思うなあ Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: まさにグルーポン的サービスがマッチしそうだと思ってました。収穫予測ができれば先払いす
ることもでき、すぐに収入につなげられるようになりそうですね。 Mar 19 ▼



西本誠: ですね。友達が購入してれば信用できると思えるし、いいことだからプッシュしやすいし、まさにフラッ
シュマーケティングにマッチしそうな気がします Mar 19 ▼



西本誠: この意見をフラッシュマーケティングのサイトの中の人に届けるにはどうすればいいんだろう。実際にやる
ならおそらく、いろいろ手続き面倒なことあるし、きちんとやってもらう必要があるので、それなりに覚悟決めた人がやる必
要があるのかなあ・・・ Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: ディスカウントしないから既存のグルーポン系サービスとは別の入り口が要りそうですね。決済
が絡むし物流に強くないといけないですし、システムは既存のグルーポン系がそのまま使えればできそうなので、既存のサー
ビス事業者の中の人に興味を示してくれるのが一番よい気がします。 Mar 19 ▼



西本誠: 中の人・・・ここに出てこないかなw Mar 19 ▼



BeMarble: グルーポン系サイトの経営陣に提案内容をtwitterのmentionで送ってみてはいかがでしょうか Mar 19 ▼



西本誠: 今の状況だとそれが一番手っ取り早いですね。アカウント知らないんですが。ちょっと探してみま
す。 Mar 19 ▼



BeMarble: これぐらいしかわかりません。各サイト経営者
グルーポン・ジャパン @keisukeseto0226 , DMM.com @dmm_matsue Mar 19 ▼



Kenichi Watanabe: 経営陣ではないかもしれないけれど @DMM_Amary (DMM アマリ) が DMM で義援金クー
ポンを買ったときにお礼の @ を飛ばしてきてくれました Mar 19 ▼



西本誠: 今 @GP_jp にmentionしてみました。#hack4jp つけているのでTLでみれるかと思います。

Mar 19 ▼



西本誠: 文章でわかりにくいところがあれば補足のmentionをする必要があると思いますので、お読みになつて意味が通じないと思われたらお教えいただけると幸いです

Mar 19 ▼



Michelle2smnk@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Takeda Masaaki: 収穫後じゃなくても、クーポン前売り&収穫後直送、でもよいような。

Mar 19 ▼



西本誠: あ、そうですね。ニュースで「収穫したけど買ってもらえなかった」っていうのをさっき見たもので、そういう場合の緊急避難的なことを頭で想像していたので、「収穫前から買ってもらえない」ことが予想できる状況のことが頭からすっぽぬけていました

Mar 19 ▼



西本誠: もしよろしければ「前売り&収穫後直送」という補足を@GP_jpに補足mentionいただけないでしょ
うか。一人で言っているだけよりも説得力ありそうなので（こちらまで中の人がいらっしゃったらこの流れバレバレですわすみませんw）

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: 子解です。
tweetしてみました。

Mar 19 ▼



西本誠: ~~ありがとうございます~~確認しました、ありがとうございます！

Mar 19 ▼



西本誠: ディスカウントはするべきじゃないですかね？風評被害が収まったときに、販売ルートがここしか残らないようでは、たぶん農家は生き残れないんじゃないでしょうか。こちらはあくまでオプションというか非常口的な販売ルートであるべきでは。

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: きちんと復興するまでは支援のつもりでディスカウントなしでよい気もしますが、どうなんだろう

Mar 19 ▼



西本誠: どちらがいいかは、農家さんだったり関連の会社の人でないと判断はできないそうですね。どっちにしても当事者が決めればいいことなのでおいておきましょうかw

Mar 19 ▼



Tsuyoshi Seino: ウィンウィンになるといいんですけどね。ユーザーは20%割引、その割引部分を義援金としてサイト側が補填できるような。広告マーケティングとかと合わせたり。

Mar 19 ▼



西本誠: 義援金とあわせるの面白いですねー！

Mar 19 ▼



西本誠: これをやると農家の方には、これまでなかった個別梱包・配送の手間が発生する。料金回収はサイト側で面倒みれるか。個別配送はそう簡単にはできないものじゃないかもなあ・・・特に単価の安い野菜を少量、とかなると配送料のほうが高くついてさすがに厳しいかもしれない。ある程度の数量ををまとめたの対応がいるのかもしれない

Mar 19 ▼



Takeda Masaaki: 個別では難しいかもしれないので、実際には農協とかで対応することになるかもしれませんね。

Mar 20 ▼



Kenichi Watanabe: ustで避難している方むけの情報を垂れ流しにする、とか。上で出ましたかね。

Mar 19 ▼



Yamagishi56@googlewave.com:

Mar 19 ▼



Nukinuki: まずは、通信インフラと端末が充実している可能性は低いので、その整備が必要だと思います。腕時計用の電池で稼動するwifiのアンテナなどが必須なのではないでしょうか。それに、スマートフォン端末を一定数配布。サーバーへ直通するア

Mar 19 ▼

プリ内蔵で、それに簡単入力で、誰がどこにいるかのデータベースが作成される。というのなどはどうでしょうか。



Hisayori Noda: 5:42 pmの自分の立てたスレッドとも重複するのですが、現地がどの程度IP Reachableなのかが分かって Mar 19 ▼
おりません。また、スマートフォンを使用できるほどのITリテラシーがある方がどれくらい要るのかも分かりません。まずは現地がどのような状況なのか、何を必要としているのか、回線が通るのかどうかを知る必要があると思います。



Teru.Shindo: 携帯の電波状況確認ができるサービスありますね。 Mar 19 ▼

被災地電波状況確認のための位置登録実績MAP | 株式会社コロプラ <http://pl.colopl.jp/c/c/map/>

GeoHex (オープンソース) を利用しているので、Latitudeベースでこれと同様のものを作るというのはアリかもしれませんね。でも通信キャリアが出している情報を追うほうが先だとは思います。



Kenichi Watanabe: 疎通確認用のサイトを作って、そこにアクセスしてもらって住所や回線を入力してもらえれば Mar 19 ▼
正確な情報が集まりそうですね



Nukinuki: インターネット環境を確保することは、確かに一番必要なことかもしれませんね。スマートフォンを使い慣れ Mar 19 ▼
ない人のために、タブレット型PCくらいの大きさで、手書き認識ができたほうがいいかもしれませんね。ほしいもののリストなどもアップできれば、ニーズも汲み取れるきがします。



Fumikazu Fujiwara: <http://setsuden.tumblr.com/> のような感じで現地で役立つ紙媒体を出力するサービスはどうで Mar 19 ▼
しょうか？



Nukinuki: 紙ってのは、どんな人にも馴染みがあっていいかもしれませんね。被災地の外からの情報提供としては Mar 19 ▼
最高だと思います。プリンタなどが課題になりますかね。



Fumikazu Fujiwara: そうですね 最寄りの7イレブンで netprintできればいいですね 出力->netprintなアプリとか Mar 19 ▼



Nukinuki: シンプルでいいですね。ざっくりしたイメージですけど、車の非接触型の鍵みたいに、持ってるだけ Mar 19 ▼
でうまいこと必要な情報が紙媒体で、身近なスポットで手に入れられる体制を整えられたら、、、いいかもしれないですね。
よく考えたら、個人に紐付けなくても、おっしゃるとおり、身近にあるコンビニなどに集約的にその機能を持たせることでも、必要最低限の要件を満たせるかもしれませんね。



Fumikazu Fujiwara: 例えば ネットが繋がっている家族->避難所にいる家族宛のメール->手紙サービスとか Mar 19 ▼
なにかありそうですね



Nukinuki: なるほど、今ここで話しているアイデアは、紙と電子をつなぐなんらかの仕組みが構築できないかとい Mar 19 ▼
うことですね。被災地に高齢者の方も多いことを考えると、そのサービスはとても役にたつと思います。あて先情報の収集が問題になりそうですが、今話している内容の仮説を前提とすると、被災地側からの情報（あて先の元データ）こそ、紙から吸い上げることが必要でしょうか。それとも、その場の誰かががんばってインターネットにつなげて作るとかですかね。



Fumikazu Fujiwara: はい私もそう思います GoogleのPersonFinderの情報を避難所毎にとれば よいですね Mar 19 ▼



Nukinuki: そうですね。モバイル端末をつかってくれば、GPSや、携帯の位置情報（電波のほう）で同定できる Mar 19 ▼
かもしれませんね。それか、本人が登録するときに入力するか、、、ですか。



Fumikazu Fujiwara: たしかに 送り元の同定はむづかしいですね。あとは 7-eleven -> 避難所 の配達人をどうする Mar 19 ▼
か。配達した人は配達完了したら 宛先の人からメッセージを預かって 配達元の人にフィードバックまでして くれればいいですね



Nukinuki: いまの状況を前提にすると、配達のぞっとするくらい大変そうですが、もう少しあとになると、徐々に Mar 19 ▼
仮設住宅が立ったり、道路が整備されてきたりすると思います。そうなれば、、、とい議論は電気も通ってるだろうから、いまいちですかね。
今、配達と考えると、どうすればいいのでしょうか。



Fumikazu Fujiwara: 最寄りプリント出来る環境からどれくらい離れているか Mar 19 ▼
被災の状況にもよりますが、陸の孤島になっているところは厳しいかもですね。車もしくは歩きで配達するボランティアを募る感じでしょうか



Nukinuki: やっぱり、集約型のステーションがあるのでしょうか。最寄がどこまで最寄かはありますが、そこからは物理的にキャリアする必要があるそうですね。タイムリー感ではe-mailには遠く及びませんが、1回/日くらいで配達できて、そのときに、手紙を集荷して、それをステーションに持って帰って返信するようなサービススキームでしょうか。



Fumikazu Fujiwara: それができれば いいですね。プリントから先はシステム化できないので 組織運営をどうするか。が大変そうですね



Nukinuki: 紙の集配といえば、郵便局でしょう！彼らに動いてもらうのが一番手っ取り早そうに思います。



Fumikazu Fujiwara: そうですね。郵便局の電報APIとかあれば おなじことができそうですね。なさそうですが



Nukinuki: 物資輸送のオペレーションとなんらかつながるでしょうか？



Fumikazu Fujiwara: それは ドンピシャですね つながるとおもいます。どこかに 避難所の物資輸送業者やボランティアの情報があればいいですね そこにマージできたら 効率的だと思います



Nukinuki: おっしゃるとおりですね。おそらく、物資も首都圏から避難所一箇所一箇所に直接輸送しているのではなく、どこかに集約してから、配布しているはずなので、そこを拠点にできればいいのですね。となると、それら各拠点通しをつなぐ、ひとつのネットワークを形成することで、より広範囲の被災者情報や安否情報、必要な物資情報などを集約させることができるかもしれませんね。全避難所の全員を各所、各個人単位で情報をハンドリングするのは非現実的ですが、小規模集約型ならばある程度現実味があると思います。その際、やっぱり紙ベースの情報を、電子化できる技術があれば、なお効率的かもしれませんね。



Fumikazu Fujiwara: 紙ベース->電子化って 例えばどんな時につかいますかね？



Nukinuki: スキャナーで紙をpdf化するときに、文字認識をする、OCRってのは聞いたことがあります
が。<http://panasonic.co.jp/sn/psn/pstc/products/yomikaku/>



Fumikazu Fujiwara: 避難所->インターネットの情報のやりとりの時につかいますかね



Nukinuki: なんらかのインターフェースは必要だと思いますが、作って作れない話ではないのではないのでしょうか。全避難所の回線確保は難しいのかもしれませんが、さきほどのスキームなら、なんとかなるかもしれませんね。



Fumikazu Fujiwara: はい ネット環境->避難所は 紙で 避難所->ネット環境は配達人に完了後 ネット環境で 打ち込んでもらうというところでとりあえず 事足りるかもしれないですね



Nukinuki: 配達人が集荷した紙を、一気にスキャナにかけて、文字列化し、それをネットのあるページに一気に表示するような感じでもいいかもしれませんね。送り人の名前を書くところだけをルール化しておいて、ネットでそれを検索できるようなサイトを作ってはいいいかがでしょうか。



Fumikazu Fujiwara: そうですね スキャナがないかもですね。プリンタは7-elevenさえあれば確保できます



Fumikazu Fujiwara: 1)Google PersonFinder で 避難所名簿取得サービス開発
2)送り人は1)のサービスで送付先を選んで メッセージ入力

- 3)配達人にメールが届く
- 4)近くのネットプリントで紙化
- 5)配達
- 6)帰ってきて スキャナもしくは入力でフィードバック



Fumikazu Fujiwara: いかがでしょうか？



Nukinuki: Google PersonFinderでは、たしか、画像で名簿がのってたんでしたっけ？画像から文字認識できる技術があればいいですね。まとめていただきありがとうございます。1)～6)で、かなり具体的にイメージがわきました。



Fumikazu Fujiwara: 文字認識は正直きびしいとおもいますよ 活字でもエラーがあるくらいなので スキャナがいいとおもいます





Nukinuki: そうなんですか。。。じゃあ、スキャナか、iphoneで、名刺作するようなやつを使うんでしょうか。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 名簿に関してはPersonFinderから 避難所->送り主への返信はとりあえず人力でいいんじゃないでしょうか？ 極力既存インフラを使ったほうが 広まると思うので Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: あとめると 作成するのは Mar 20 ▼

- 1) 名簿検索機能
 - 2) メッセージ登録->netprint番号採番機能
 - 3) メッセージ返信機能
- あとは 手運用でminimumですかね



Nukinuki: おっしゃるとおりですね。目的は技術開発ではないですから、構築しやすいように、minにすることが大切だと思います。いいアイデアだと思います。 Mar 20 ▼



Teru.Shindo: 略字、旧字、クセ字などについて、実際の登録作業で出てきているであろう問題についての指摘（アドバース）の記事も出てますね。このあたりのことについても考慮が必要かもしれません。避難者名簿をテキスト化している有志の皆さんへ | makewisteriaのブログ - <http://goo.gl/r6sSx> Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: そうですね 単純な検索機能だけだとヒットしないかもですね PersonFinderのAPIって そもそもどんなものが提供されてるか そのへんのゆらぎは吸収できているのか 調べてみたいですね <http://googledevjp.blogspot.com/2011/03/person-finder-api.html> Mar 20 ▼



Nukinuki: かなりお詳しいですね。私は素人ですが、そういった技術的なところが不可欠ですね。給水所 マップも拝見しました。これもすぐ役にたちそうですね！ Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: ありがとうございます！ 別件ですが マップの更新がおいついてないので 随時マップ 更新ボランティアさんを募集中です^.^; あとは 救援物資ルートに載せれるかどうか 調査してみたいですね Mar 20 ▼



Nukinuki: なるほど、こういったものは、オープンになっていて、誰でも編集ができるものなんですね。勉強になります。物資輸送とマージできるかが、かなりの成否を分けますね。別々というのは非効率ですから。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: はい わざとそうしてます Mar 20 ▼



Nukinuki: いいプレストになったと感じてます。ありがとうございました。明日もまだプレストがあると思いますので、また議論させてください。ちょっと早朝から動いているので、そろそろ休みます。ありがとうございました。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: おつかれさまでしたー Mar 20 ▼



Nukinuki: 1) の検索機能でくせ字対応が必要ということになりますね。 Mar 20 ▼



Shiganet: モデレーターのほうにも投稿しましたが、一応こちらにももう少しまとめたものを投稿してみます。【アイデア】 Mar 19 ▼

支援物資の避難所までの経路を中継地点ごとにビジュアルで表示し、支援物資の需要と供給を一元管理できるような仕組み。

【目的】

支援物資を送りたい人や物資配送を行いたいと思っている人たちに現在の物資の流れを可視化して把握できるようにすること。最適配送までは到達できないとしても、物資の需給状態の把握ができることや、起点、中継点の提供が促進され、ノード間物資移動の必要数がネットで共有できればひとまずは成功。

【ノードの種類】

- ・避難所：最終目的地
- ・中継地点：物資の中継基地
- ・起点：支援物資の送付先

【参加者の種類】

- ・避難所管理者：場所の関連情報のアップデート、物資在庫数の管理
- ・運搬者：ノードからノードへ物資を運ぶ人
- ボランティアや運送業者？
- ・中継地点管理者：中継地点の関連情報のアップデート、物資在庫数の管理
- 自治体、倉庫を持っている企業や商店など
- ・起点管理者：支援物資の受付、起点関連情報のアップデート、起点在庫数の管理
- 自治体、倉庫を持っている企業や商店などで支援物資の受付業務をこなせるところ
- ・政府、自治体は可能な限り避難所、中継地点、起点管理者としてデータをアップデート

■基本的には誰でもノードの追加、物資在庫の増減を編集できるようにする
※認証をどうするか？（なりすましや詐欺行為などの抑制）

■各ノードはルートにより連結される
→道のりの概要、参考距離、走行時の注意点など
※ルートは誰が管理するか？

■各避難所に近い中継地点にも連結ノードの在庫数値が調達可能数として反映される。

■中継地点は、同時に起点としての役割をこなすことも可能

■各ノードでは現時点の在庫、必要数、倉庫のキャパシティなどの情報が表示される。

■避難所はもちろん近隣や隣県で倉庫を持っている人、自治体なども中継地点としての登録できるようにする

■政府、自治体についてはある程度とりまとまっていると思うので、それらの情報を反映しつつ、企業やボランティアがどこへ何を持ち込むor届ければよいのかというのが可視化されることが目標

■最終的には中継地点を有機的に連結させ複数のパスを持つパケツリレー方式の配送網を都内近郊にまで延長してることができれば理想



Kazuya YOKOYAMA: いわゆるSNSなどインターネット前提でのものはお年寄りなど多くの方にリーチするには限界があると思います。 Mar 19 ▼

本当に困っている方はラジオ（できてもテレビ）の媒体を通じてしか情報のやりとりができないのではないのでしょうか。インターネットとこれらをスムーズに循環させる仕組みがあれば両者がいい形で動けると思うのですが。プレストなので問題提起も含めて。



Keiichi Hida: 被災者の方が求めている情報、被災者の方の安否情報、このへんをうまくつなげる仕組みがあるとい いですね。例えば、RFID付きの名札やペンダントを配り、避難場所の出入り口にリーダーのゲートを設置。アグリゲーションしたデータを家族が見られるようにする。被災者の方が能動的にネットへアクセスできる状態じゃないので、仕組みとして提供できたら良いかと。。。 Mar 20 ▼



Kuippa: オレオレサービスのポータルサイトが必要なのではないのでしょうか Mar 19 ▼

自分も何かできることはないかと思いつく範囲でかたっぱしから実装してはいますが、多分他のひととやってることも重複しているとおもいます。joininできるのであれば、それにこしたことがありませんし、担当がきまっていたほうが注力しやすい。ユーザーフォローや告知まで手がまわらないので利便性もひくくなります。 <http://kuippa.sakura.ne.jp/> とか衝動にかられてあれこれつくったけどそろそろみんな一呼吸してタッグを組むじき？



Yusuke Igarashi: 各地でガソリンスタンドへの行列が来ています。ガソリンスタンドの整理券発行サービスを提供するのはどうでしょうか。 Mar 20 ▼

本来、ガソリンスタンド側が整備すべきものだと思いますが、すぐに用意するのは難しいのではないかと思います。給油を希望するものは自動車のナンバーと連絡先のメールアドレスを登録、ガソリンスタンド側は供給可能なガソリンの量と分配したい台数を登録。給油希望者にメールで給油可能な日時と量が整理券として通知されるといったものです。直接、被害の大きい被災地を支援するものでもなく、営利企業の業務に関わるものですが、各地で給油を求める列が渋滞を引き起こしている現状は間接的に被災地への支援の妨げになっているのではないかと思います。



Yusuke Igarashi: ガソリンにだけ注目していましたが、今後の復興においてもいろいろな行列が発生するかもしれ ません。 Mar 20 ▼

その場に行かずとも整理券が発行されて、物理的な行列が短くなれば色々なコストが減らせるのではないかと思います。汎用的な整理券発行サービスを提供するのはどうでしょうか。

 **Knj77:** 既に出てるアイデアかも知れませんがGoogle Maps上に自分の位置とメッセージを貼付けるサービスとか。そこにTwitter, Facebook, Mixiのソーシャルグラフで繋がってる人だけを表示するとそのまま安否確認になるとか。(利用者のハードル高いかな...)

 **Yujismd@googlewave.com:** 仮設住宅.comとか統一したサイトとか必要かも。 Mar 19 ▼

 **Shinjiro watanabe:** 投稿数が多くて、描画が大変な方が多いようです。次のページを作ったほうがいいかも知れませんか> 中の人 Mar 19 ▼

 **Fumi Yamazaki:** ありがとうございます！<http://goo.gl/vbtDS> です Mar 20 ▼

 **Beatnics@googlewave.com:** 今、このサイトを知って、ざっと読んだつもりですが、私のアイディアを記します。 Mar 20 ▼

1. 電力の回復地域が判るGoogle Map (携帯かわ読めれば、尚可)
2. 同様に水道の回復マップ
3. 救援物資にきつとデコボコがあると思うので、どの拠点には何が多少あまっているのか、何が足りないのかが判る避難所ごとのリスト Google mapのプレイスペースのイメージで

私は、このように思っています

 **Shinobu Izumi:** 実は、利用者リテラシをもっと高めるような活動も、今後考えたほうがいいのかもしれないね。テレビのように受動的に情報を受け取るのに慣れている方々に、少しずつ能動的な情報取得を覚えてもらい、今回のような災害ではそれらを活用してもらえるように準備をしておくのも重要かと思っています。 Mar 20 ▼

 **Keiichi Hida:** 確かに今後そのようなリテラシー活動は必要だと思われます。しかし現在現場で求められているのは、もっと身近な情報だとおもっております。ネットの情報を紙などに落とせると良いですね。 Mar 20 ▼

 **Ryo.freestyle@googlewave.com:** ■ 生活物資のネットショッピング Mar 20 ▼

個人ではなかなか生活物資の提供ができません。

募金が集まって、すぐにいろいろなモノを購入。
というわけにもいかないと思いますので、
楽天やアマゾンの既存のサービスを使って、
生活物資を購入できるページを設置するのはどうでしょうか？

既出かもしれませんが、、

必要物資のリスト、目標個数等がある程度決めて、
その物資をユーザーの方に購入していただけるようにして、
各被災地へまとめて送ることができれば、
多くの人が簡単に、しかもすぐに被災地の方へ物資を届けることができます。

情報をいち早くつかむアプリ等も必要かもしれませんが、
まずは、生活物資の提供で被災地の方の健康状態を維持する必要があります。

ネットで購入できる仕組みをつくることで、
個人で被災地に物資を届けるために、経路選択などの手間もはぶくことができますし、
多くの物資を提供できるかと思います。

必要な物資を扱っている会社をそろえることができれば、
すぐにでも実装可能ではないかと思います。

■ 情報の共有

上記の生活物資の提供時に、被災地の避難所等に、

確実にネットにつながるパソコンを配布して、
大型のディスプレイにさまざまな情報をのせられるようにはならないでしょうか？

ネットワークを各避難所等で確立できれば、
各個人がそれぞれにネットワークを利用するよりも、
トラフィックを抑えることができ、確実に情報を配布できると思います。

そこで、必要物資を入力することができる板を設ければ、
必要物資、個数等も把握できるのではないのでしょうか？



Keiichi Hida: 募金もいいのですが、確かに楽天やAmazonで震災支援パックなどを用意して、それを欲しい人、そのお代
を支援する人とマッチできるサイトができればいいですね。 Mar 20 ▼



Tunemage: 避難による一時的な雇用の需給の増減を吸収できるようなマッチングシステムってできないでしょうか？例え
ば東北地方で家を失った方が1年関西に住むとして、その一年だけ雇用契約を結んで、一年後に東北にある、競合しない同業他社（飲
食など）に移行できるように3者（避難者・避難先・避難元）間での合意がとれるように。必要以上に避難先の雇用情勢を圧迫せず、避難元
の復興もスムーズにできるようにしたいです。



志田裕樹: 各被災地の方々が災害以前のように自分の家を持ち、働いて以前のように収入を得られるようになるには
とても長期的な支援が必要だと思うのですが、
テレビでの取り上げられ方もだんだん小さくなってきており、例えば1ヶ月や2ヶ月後には、
かなり国民全体の関心が下がってしまい、寄付額がかなり減ってしまい、
いつまでも復興できないのではないかと、というのが心配です。 Mar 20 ▼

- * 被災地の人に、瓦礫の山の写真や、避難所の写真とか、動画を携帯のメール添付で送信してもらう
- ** 大船渡なら ohfunato@xxx.org に投げてもらう
- * 大船渡用のTwitterアカウントを用意し、送信された内容をそのアカウントにつぶやかせる(画像や動画は <http://twitc.com> などへ)

という簡単なシステムですが、どうでしょうか？

デマを排除する方法がむずかしいかもですが。

継続的に関心をつなぎとめるためには、被災者自身がネットで情報発信していくことが重要であり、それを支援するサービスやインフラが
必要ではないかと思っています。



Yoshihiro Sugi: 復興していく様子を記録し続けて 数年後に見ることができると嬉しいですね。
復興後の姿を今のうちから想像して用意しておいて、そこに近づいている様子がわかる、とか Mar 20 ▼



Mocchi: [google map](#)に投稿している写真で復興してい時系列に閲覧できるとか、[map](#)に古地図を重ねてみたい
に、復興の様子を時系列並べた衛星写真とか見れるとか Mar 20 ▼



志田裕樹: 被災地の方はリテラシー的なことを考えるガラケーの添付メールでの
投稿がメインになるのではないかと考えています。 Mar 20 ▼

ガラケーのメールで、緯度経度を取得する方法はありますか？

この投稿用のメールアドレス(ohfunato@xxx.org など) を現地の人に
周知する方法はどうしたらいいんだろう...



Yutaka Sato: 「ガラケーのメール」で緯度経度を取得出来るとすれば、
発信者がどこの基地局を使ったか？とかでしょうか。
ヘッダには無さそうですね... (未確認)
それが出来れば、メールアドレスを元に安否・所在確認ができそうですね。 Mar 20 ▼

瓦礫の下での連絡にも大まかな要救助者の場所とかを想像したんですが、
~~津波だと携帯自体が壊れてるかもしれない~~地震だけなら有りでしょうか。



Yukio Andoh: ガラケーで普通にメール送信してもらうときに、写真を添付してもらえば、GPSと携帯電話
基地局によるA-GPSの経度緯度位置情報が添付画像JPEGのEXIF情報に入ります。これが利用できます。ただし、携帯
電話の設定で位置情報の送信を許可する設定にしておかなければいけません。通常はデフォルトではOFF。GPSもダメな機種
や環境の場合は、メールの本文にあいまいでも良いので住所を書いてもらい、その情報をジオコーディングサービスを使って

変換すれば、緯度経度が取得できます。あと、そのメールアドレスを周知するのは、Twitterでの伝搬や、FAX で QRコードとメールアドレスを書いた紙を送るなど。有益なサービスで多くの人に使ってもらえるようになれば、テレビニュースなどでとりあげられます。



志田裕樹: ありがとうございます!

Mar 20 ▼

EXIFから緯度経度が取ればその情報を使うというのは良さそうですね。

メールアドレスのSubjectで位置を判定というのはどのぐらい精度だせるかちょっと心配ですね。

個人的には ohfunato@xxx.org 方式で、gooのようにエリアは「大船渡エリア」ぐらいとし、地図上にマッピングはEXIF情報が取れたらやる、ぐらいでよいのではないかと考えています。

場所に関するより詳しい情報は本文に自由文で書いてもらえればいいかな、と。

「マイヤ本店付近です」とか「加茂神社避難所です」と書いてあれば、現地のことを知っている人なら一発でわかりますが、たとえば、google mapsで「加茂神社」で検索してみましたが、大船渡の加茂神社はヒットしなかったので、googleが提供しているAPI(そういうのあったか定かではありませんが)では難しいのかも、と思いました。

周知のアイデアなどありがとうございます。
普通の郵便は時間かかるけど、できるだけ配送します、ということが

http://www.post.japanpost.jp/whats_new/2011/0319_02.html

にありましたので、各自治体に郵便で送る -> 周知してもらうというのもありかもですね。



Fumiko Kurano: 以前、ガラケーで画像を撮影後、位置情報を取得して、Google Mapsにマッピングするようなシステムを実験的に作っていたので、可能です。

Mar 20 ▼



志田裕樹: ありがとうございます。
それは、JPEGのEXIF情報から取る、という手法ですか?

Mar 20 ▼



Fumiko Kurano: その通りです。Exifで、位置情報が付いているものであれば、PCのメールで送った物も対応しています。実験研究用に作った物ですが、これです。
<http://goo.gl/tWi30> <http://goo.gl/tWi30>

Mar 24 ▼



萩原崇之: gooで似たような試みがありますね
<http://blog.goo.ne.jp/311goo>

Mar 20 ▼



志田裕樹: ほんとだ! でもあまり投稿されていませんね...あまり周知されていないのかな...

Mar 20 ▼

Twitterにも投稿する、ということで書いてあるのですが、Twitterのどこに投稿されているのかわからないです。

ハッシュタグとかセットしているのかな。

Twitpicなどに投稿すれば、Twitterクライアントによってはタイムライン上にインライン表示もできたりすると思うんですけど。

これ、もっとユーザーからの反応ももっとあってもいいと思うんですが。。。

もっと改善したいなあ...
とりあえずコンタクトとってみます。

ありがとうございます。m(_ _)m



Takeda Masaaki: とても同意です。Twitterだと大量のTLの中ですぐに流されてしまうと思うので、スマホのアプリにして おいて、お知らせをPUSH配信するのがよいかなあとか考えていました。iPhoneアプリのR25みたいな感じで、記事の更新があったらアラートが出るような形。

Mar 20 ▼

半年とか1年経っても完全復活にはいかないでしょうから、年単位で支援が継続できるような情報発信（注意喚起？）が必要かなと思います。



志田裕樹: そうですね。Twitterに限らず、
いろんなメディアに向けて送信して良いと思います。

Mar 20 ▼

Twitterは ohfunato@xxx.org なら [#save_iwate](https://twitter.com/save_iwate) とか、然るべきハッシュタグをつけてあげれば、ウォッチしている人の目に留まると思いますし、RTで、より多くの人に届くかもしれないので、Twitterはやりたいと思っています。



山田友典: 参加登録しました。とりあえず自分がすでに作ったものを載せときます。パーソンファインダーで名前を検索し
て最後の場所が登録されていたらプロットする地図。 <http://goo.gl/5TzyN> Mar 20 ▼

救助要請ハッシュタグ([#j_helpme](https://twitter.com/j_helpme))を含むツイートをプロットする地図<http://goo.gl/dAJap>



Masafumi terazono:

Mar 20 ▼



山田友典: こちらで避難者リスト画像からパーソンファインダーへの登録支援ツールについて議論されています。 <http://goo.gl/A49Jj> Mar 20 ▼



Abeshacho@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Yuki Arita:

Mar 20 ▼



Yukio Andoh: あ、あと注意事項というか、お願いします

Mar 20 ▼

。ここであがってきたアイデアを実現する際は、同じようなサービスが無いかわかるまで調べてから実装を始めて欲しいです。すでに（たとえ不完全でも）似たようなサービスを作った人がいるのに、同じようなサービスを再び作る際には、オリジナルの人に連絡をとってなんらかの形で協力してもらえると嬉しい。最初にサービスを立ち上げた人は、志が高く、限られた資源でなんとか急いで作ったのだから、その気持ちを育てていきたい。本プロジェクトはGoogleのメンバーや、多くの企業が賛同くださり、今後メディアでも取り上げられる機会も多くなると思う。そんなとき、一番最初にアイデアを実現した人が取り残されると、とても悲しい気持ちになるかもしれないので。なんかうまく書けないけど。これは決して「もうすでに同じようなサービスがあるから、本プロジェクトで作る意味が無い」ということを言っているのではありません。



Daichi.yoshinari@googlewave.com: 有志で被災者と支援者をペアリング行おうと活動しているものです。 Mar 20 ▼
まだ全メンバーの同意をとれているわけではないのですが、ほぼ同じサービスなので、そちらに合流できたらと思います。
同じようなサイトが立ち上がることにより、結局情報が拡散してしまったら意味がありません。
本日午後8時ごろからミーティングをし、合流するかどうかを決定します。

その際は、今まで培ってきたナレッジを解放し、共有できたらと思います。



Daisuke Nakamura: Smiley Street View

Mar 20 ▼

- 被災地のStreetViewをUpdateする、ある程度道路事情が安定したら（Googleさん、おねがいします！）
- SmartPhoneで、ARっぽくStreetViewをUpdateする仕組みを実装
- ボランティアや、現地の方々が、復興活動の区切り（どこかを片付け終わった、とか）でUpdate,そのとき記念写真のように人物も入れる。了承が得られれば顔は消さない。
- お店が営業再開したり、家が建ったり、大きな復興が成し遂げられたら、できる誰かがUpdate
- 仮設住宅などで、iPadでこれを閲覧できるようにしておけば、ご近所の様子を随時チェックできる。お年寄りでもできるかもしれない。



Yukio Andoh: もうひとつ、これは Googleの中の人にしかできないことだと思うのですが。震災前のストリート
ビューを消さずにとっておいて欲しい！情報としては最新のストリートビューにすることが重要ですが、過去の美しい町並みをアーカイブとしてぜひともとっておいてほしい。 Mar 20 ▼



Teru.Shindo: 同様の意見はTwitterなどでも見かけましたし、被災者の方と思われる書き込みにも同様のこ Mar 21 ▼



意見が見られましたことを書いておきます。



Kenji ISHIKAWA:

Mar 21 ▼



Yutaka Sato: 実システム案では無いんですが、
メールをインターフェイスにして何か情報を得ることは難しいでしょうか？

Mar 20 ▼

- webを使えないけど、メールを使える方向け
- webで情報を得るまでにたどる煩わしさの改善
 - 電池持ちにも貢献できるかも
- ガラケー、スマホに影響しない情報提供

等を想定しています。

よくは練れてはいませんが、
メールに何らかのフォーマットで本文を書いてもらい、それに対する情報のReplyを行う。
(本当は形態素解析(よくは知りません)とか出来れば、日本語で検索できますかね?)

返すデータ自体は既にあるシステムで収集している物でいいと思っています。
ので、各システムのAPIへの入り口でも良いかもしれない？
もしくは各システムに乗せやすい部品作りかもしれない？



Shigenori kamata: Yahoo! JAPANのキーワード抽出APIは形態素解析した上で重要な語を返してくれるから便利ですよー Mar 20 ▼



Hideaki Kiko: メール本文に氏名を入れて送ると、Person Finder APIを呼び出して、結果をメールで返してくれるようなのも嬉しいかもしれません。 Mar 20 ▼



Joe Mio: インドネシアのFacebook利用率が異常に高いのはSMS経由で安価に利用できるからって話もありましたね👍 Mar 20 ▼



Joe Mio: <http://attrip.jp/24383>

Mar 20 ▼



Chie masuko: できる限り多くの人が、簡単に使えるもの、
且つ、複数人で情報共有でき、
普段から使えるものが必要と考えています。

Mar 20 ▼

上のほうにメーリングリスト案がでていましたが、メールは繋がらなくなる場合が多いので
TwitterとかFacebookのような情報共有やり取りが簡単にできる形式のものが要ですね。

ただ、ITリテラシの低い人にTwitterとかFacebookなんて教えられないですし
そもそも災害時になって突然使えと言われても使いこなせるわけがないです。

なので、平常時からメールのように使っていて、災害時でも繋がりが易いということを
考えておく必要があると思います。

先日ExciteNewsに出ていたこの記事 <http://htn.to/UaGTXo>

「インターネットをよく理解していない家族と、Twitterで連絡を取る方法」
など、ヒントが隠されている気がします。



弘智 松浦 o3_: おはようございます ホープ茨城ではドメインをとって地元のNPOセンターと連携し茨城と周辺情報をまとめる予定です <http://hope-ibaraki.org> Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: 1日目のブレーン・ストーミングはここまで↑↑ 続きは2日目のWaveで！

Mar 20 ▼



青木まがりまめ:

Mar 20 ▼



高木祐介:

Mar 20 ▼



Mitsuaki Ishimoto:

Mar 20 ▼

Tags: [hack4jp](#) [preparation](#) [brain storming](#) 

Images ▼

Next wave ➞